

1. 件名：「トランスニュークリア（株）特定兼用キャスクの型式証明申請に関するヒアリング【5】」
2. 日時：令和5年5月29日 14時00分～16時30分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室
4. 出席者（※・・TV会議システムによる出席）
原子力規制庁：
（新基準適合性審査チーム）
戸ヶ崎安全規制調整官、寺野管理官補佐、松野上席安全審査官
櫻井安全審査官※
（核燃料施設審査部門）
甫出安全審査官
（システム安全研究部門）
後神主任技術研究調査官
トランスニュークリア株式会社：技術部 部長 他4名※
（株）IHI 資源・エネルギー・環境事業領域 原子力SBU 機器設計部 主査
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料：
資料1-1 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 コメント管理票及びコメント回答（第十六条関連）
資料1-2 発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明申請 設置許可基準規則への適合性について（第十六条関連）
資料1-3 補足説明資料 16-2 16条燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 臨界防止機能に関する説明資料
資料1-4 補足説明資料 16-3 16条燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 遮蔽機能に関する資料
資料1-5 補足説明資料 16-4 16条燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 除熱機能に関する説明資料
資料1-6 補足説明資料 16-5 16条燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 閉じ込め機能に関する資料
資料1-7 補足説明資料 16-6 16条燃料体等の取扱施設及び貯蔵施設 材料・構造健全性（長期健全性）に関する資料

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:15	規制庁の松野です。
0:00:18	それでは時間になりましたのでトランスニュークリアの特定兼用キャスクの型式証明のヒアリングを今から始めます。
0:00:27	本日は、コメント回答を中心に、
0:00:32	説明があるかと思えますけども、
0:00:35	ちょっと説明の順番を、
0:00:37	ちょっと遮へいの部分からちょっと始めていただきたいと思うんですけども、いかがでしょうか。
0:00:45	TNシモジョウで承知しました。
0:00:49	では説明の方、お願いいたします。
0:00:54	それでは資料を共有させていただき、
0:01:00	見ます。
0:01:12	今、
0:01:14	資料を移しましたけれども、画面に映っておりますでしょうか。
0:01:20	こちらの画面にはちょっとまだ映ってな、ある。
0:01:24	はい。すいませんが。はい。
0:01:27	すいません少々。
0:01:29	へえ。
0:01:40	という。
0:01:43	きました。
0:01:55	つぎましたでしょうか。
0:01:57	はい。移りました。
0:02:00	そうしましたら今日はですね、前回までにヒアリングをいただきました基本機能設計についてのコメント回答をさせていただきます。
0:02:12	今映しておりますコメント回答のパワーポイント式の資料をベースに、ご説明進めさせていただきます、適宜、それに関連する
0:02:23	資料ですね補足説明資料等に飛びながら回答を進めていきたいと思えますよろしく願いいたします。
0:02:33	まずは遮へいに関連するところから始めさせていただきます。
0:02:42	えっとコメント回答の管理表の6分の1ページで、2番ですね。
0:02:49	区分のところでは社Aとなっているところを先にご説明させていただきます。②番のコメントで、
0:03:01	ピーキングファクターの設定根拠と保守性について説明すること。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:06	いうコメントをいただいております。これは 3 月 30 日のコメントでございました。それにつきましては本パワーポイント資料の
0:03:17	9 ページ、
0:03:19	になります。
0:03:31	はい。9 ページですね。この、
0:03:35	この部分で回答を書いております。
0:03:39	経験 26 型の線源強度の計算に使用しているピンファクターは、電力事業者さんからお返しいただいている条件となっております。
0:03:49	独自にですねOECDNEAから提供されているPWR燃料の事項高燃焼度グループのDたがございまして、
0:04:00	このDたと
0:04:03	比較をしてですね、その保守性を確認しております。
0:04:12	この下の図に映しております通り、赤い階段状の線が、TK26 型で使っているピーキングファクターで、
0:04:24	その下にあります、虹色のデータ一つが一本一本の燃料集合体のデータになりますけれども、それらの値を、
0:04:35	を上回るPK26 で設定しているT. ハッタ上回っておりますので、
0:04:42	電力さんから提示いただいたピーキングファクターというのは保守的な、安全側の設定になっていると、ということが確認できてございます。
0:04:52	なおですね、経験 20 オカダで適用したPファクターが 1 に規格化された燃焼度グループに対しまして、その平均値を計算しますと□になります。
0:05:05	ので、燃料集合体全体ですね、
0:05:11	□%程度の裕度があるということになっております。
0:05:22	それと、
0:05:24	補足説明資料ですね、
0:05:33	別紙の 5 分がありますけれども、
0:05:39	今ご説明した内容が、別紙の 5 の方で、
0:05:45	説明を同じ説明をしております。また別紙の方ではですね、グラフに示しました、ピーキングファクターの具体的な細かい数値もですねあわせて載せてございます。
0:06:01	すいませんちょっと今ご説明した中でですね、一部マスキングするべきところろ、
0:06:10	していないところを知らせているところがございます、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:13	PTファクターの平均値の値とを何%高く、アンゼンガワニ何%高く評価している。
0:06:23	いうところですね、申し訳ありませんちょっと議事録の方では削除していただきたいんですすいませんよろしく願いいたします。
0:06:41	本件については以上になりますけれども、
0:06:49	規制庁松野です。
0:06:52	と、遮へいについては、
0:06:55	これのみ。
0:06:56	でした。場所。
0:06:58	先に全部一通り、
0:07:00	遮へい管理はちょっとまとめて全部一通りお願いします。
0:07:05	承知しました。
0:07:07	Pファクターにつきましては、今のご説明いたしました通りです。コメント管理表の6分の1ページの方に戻りまして、
0:07:22	No.の3番になります。難波さんはですねMCNPIによる解析条件評価方法、またその妥当性について説明すること。
0:07:35	また評価結果に統計誤差を併記するような、
0:07:38	ということでごめん、コメントいただいております。本資料の10ページに飛びまして、
0:07:48	回答しております。
0:07:51	回答はですね、MCNP Vコード入社へ評価の結果、評価は以下の通り全部ありますということで説明してます。まず一つ目は、分散低減法として部員同士をしていること。
0:08:07	植野委員、二つ目にウエイトウィンドウのパラメータの設定に、補助構造として、アドバンテージ分をどう使用しているということ。
0:08:15	TK26型の表面及び表面から1メートル離れた位置における線量当量率の分布を、まずFメッシュの有井ですね、モデルをこういく。
0:08:28	あるサイズのメッシュで区切ってですね、あと全体の線量の分布分布を調べています。
0:08:35	その次にF梅酒2人で評価した線量率のうち一番高いところを確認いたしまして、その評価点において、半径5センチまたは半径10センチの、
0:08:49	免検出器を設置して、西尾を解析すると。
0:08:55	いうことをしております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:57	その結果をですね、MCNPのコードで、19の統計指標がございますけれども、それらの統計指標のを、
0:09:09	が満足しているかどうか、とあと全体的な線量分布の連続性、そういうところを総合的に評価をいたしまして、計算した結果が妥当な結果であるということを判断しております。
0:09:24	検出キーのサイズにつきましては、表面の中央側面中央とかですね、比較的線量当量率の変動があまり大きくないと。
0:09:38	考えられるところについては半径10センチ、それ以外のポイント、評価点につきましては半径5センチというふうにしてございます。
0:09:50	今ご説明したような内容が、ほ遮へいの補足説明資料の方で、
0:10:02	記載しております、別紙の25ページですね。
0:10:10	別紙の1-25ページ。
0:10:24	別紙の1-25ページで、改訂しているところは赤の色で記載しております。4ポツの詳細評価条件というところを、
0:10:37	を追加をしております、その中で今申し上げたように、分散低減法とか、有井の設定ですとか、統計指標、
0:10:46	そのあたりの考え方について、補足説明資料の方に、追記をしております。
0:10:59	次にコメント管理表に戻りましてコメント管理表の6分の1ページのNo.4になります。
0:11:08	4番の
0:11:10	コメントは、燃料モデルで燃料集合体をバスケットの格子内で均一化していますと。
0:11:17	そういうしているということなんですけれども燃料品を禁止させることによって、計算結果に影響があるのかないのか、その影響について説明することと、
0:11:29	いうことで
0:11:30	コメントをいただいております。
0:11:32	これにつきましてはこのコメント回答資料の11ページ、2の方にコメントの回答を記載してございます。
0:11:45	これはですね公開文献で2016年のパートラムの文献を参照しているものでございます。
0:11:55	定型26型の遮へい解析ではバスケット格子の燃料均質化しておりますが、その参考文献アノパートラムの文献です。参考文献1では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:06	燃料集合体を詳細にモデル化する場合と均質化する場合の比較計算が行われていまして、バスケット格子内で、
0:12:16	燃料集合体を均質化した場合、この文献の中で言いますと、ホームジーニアスモデルのつミイと、
0:12:26	というのがそれになりますと、あと燃料集合体の詳細、ぴんぴん売品でモデル化したもの、この文献の中ではDケールモデル。
0:12:36	になってます。
0:12:39	それらを比較してですね、容器表面、側面の表面から1メートルにおける中性子ガンマ線の線量当量率に、ほとんど差がないということが確認されてございます。
0:12:52	ということで燃料燃料をですね、こうしないバスケットの方市内で均一化するということに、者解析結果への影響というのは、問題ございませんという、
0:13:04	回答になります。赤で各図のですね、赤で囲っているところが、今申し上げた燃料を集合体をバスケットの格子内でモデル化した場合と、
0:13:17	品ばい品でモデル化した場合ディーテルモデルとを、のモデル化をしているところです。この文献の中ではですね、燃料集合体が5体、
0:13:28	収納されるような、仮想的なといいますかそういうキャスク体系のようなモデルを考えておりまして、それで表面の側面の
0:13:39	あと1メートルの線量率を比較しています。
0:13:44	計算結果テーブル2-2-4ですね。ええ。
0:13:49	もう赤の枠で囲っているところがそれになります。
0:13:53	②番と③番の比較をしますと、中性子とガンマ線両方ともですね、ほとんど計算結果に差がない。
0:14:05	ということで、燃料集合体の中で均一化することには問題ないと。
0:14:11	いうふうになことが、この文献の中で示されている。
0:14:15	ということでございます。
0:14:22	はい。これが今No. 4のコメント回答になります。次に、コメント管理表の6分の2ページの方に戻りまして、ナンバーの6番です。
0:14:36	ナンバー6目とナンバー6番では中性子遮へい材の重量現存の評価方法について、試験データ等を含めて説明してくださいというようなコメントをいただいております。
0:14:47	これにつきましては本コメント回答資料の12ページと13ページに回答をしております。
0:14:58	12ページですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:01	金券 26 対照している中性遮へい材は、エチレンプロピレン系ゴムを主体にしたものでございます。
0:15:09	文献の参考文献の 1、
0:15:12	2、
0:15:13	これもカタログで走行しているペーパーになります。
0:15:18	この材料をこの中性遮へい材の 1 万時間までの加熱試験で、ラーソンミラーパラメータを劣化パラメーターとして評価した場合に重量現存
0:15:30	の流量質量減損率と、の間に、そのパラメーターと主要減損率の間に直線的な関係があるということが、評価されております。
0:15:41	図の 6-1 が加熱試験のデータですね。
0:15:47	図の 6-1 が、LLPを横軸に縦軸にウエイトを質量減損率を縦軸にした場合のデータのプロットをしてございます。
0:16:00	図の 6-2 からほぼ直線的な関係があると、ということが確認されておりますので、ここで近似した
0:16:12	直線関係の式から、質量減損率を評価をしているということでございます。
0:16:23	次にその横の図ですね、ちょっとマスキングしておりますけれども、この遮へい材のですね、とした熱分析をした結果が、図の 6-3 に、
0:16:34	示してございます。
0:16:39	250 度ぐらいまでですねほとんど熱的な変化が生じないと。
0:16:46	ということが隠してございます。
0:16:51	その次、13 ページの方に参りまして、回答の 2 分の 2 の方になります。
0:16:58	この遮へい材をですね、140 度で加熱した際のハセガワ数の分析をした結果を表 6-1 というところに示しております。
0:17:10	この結果ですね、発生が数は一酸化炭素とか二酸化炭素とあと炭化水素系のガスっていうものが、主たる成分が発生ガスになってございます。
0:17:23	ので、本中性遮へい材の
0:17:27	はですね、エチレンプロピレンゴム集団にしたものなんですけれども、
0:17:32	前ページ、先ほど大野崎野を説明した質量減損率というのは、本材料の密度全体で減損するというふうにして
0:17:42	沈む減損を考慮していると、ということでございます。
0:17:48	特定の例えば水酸化アルミとかですね、入っている場合は水、水分が遊離して現存するというのが選択的に、
0:17:58	ALPSの成分が

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:01	分解して出ていくというようなことがあるんですけども、この材料につきましてはそういうことではなくて、材料全体で実現損が生じているというふうに考えて評価をしているということでございます。
0:18:16	コメント管理表の
0:18:20	6分の
0:18:25	2ページ、パワーポイントの資料で、ページの4ですね。
0:18:30	に参ります。
0:18:35	ど遮へいイデですね、8の2番ですね。
0:18:41	これはアノは、ここでは千野一井で、前回コメント回答をしたんですけどもこれバーナブルポイズンの
0:18:52	についての記載を、アノについてのコメントをいたしました遮へいの計算の上限とあとバーナブルポイズンの条件を、
0:19:04	についてのコメントを対応したんですけども、一部8-1で追加コメントありと書いてあるのは回答の中で追加コメントをいただいたのが8-2。
0:19:14	になっております。これ表現上の
0:19:20	について、記載の表、表現上のコメントですけども、再解析の条件の記載にはですね、燃焼度の記載があるんですけども、
0:19:32	そこに図等がついていました。遮へい解析の計算条件ですので、不凍をとというのは不要ではないかということでコメントをいただいておりますのでそれを削除したと。
0:19:45	いうことでございます。
0:19:47	概要を、
0:19:51	基準規則の形合成についての概要のパワーポイントの資料の
0:19:55	14ページに
0:20:00	なります。
0:20:01	今、画面に映しておりますけれども14ページで、今回見直したところはリビジョン番号三角2となっていて、
0:20:11	赤で記載しております。この表の中で最高燃焼度燃取ごとに最高燃焼度のオオキサイのところですね、中央部と外周部の解析条件のところが
0:20:25	48と44。
0:20:27	いうふうに書いておりますここ、前回SEの資料で不東郷がついてありましたので、解析条件に不等号をつけるというのは、適切ではなからうということで記載を見直してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:42	バーナブルポイズンにつきましても、ここに記載の通りで、
0:20:47	統合を外しているということでございます。
0:20:53	コメント管理表の方にAの4ページに戻りまして
0:20:59	9番、コメント番号9番です。
0:21:02	補足説明資料のですね、別紙1-2の表でピーキングファクタの記載がないということで
0:21:11	コメントをいただいております。
0:21:15	回答としまして追加をしましてということでございます。
0:21:21	で、ちょっとなお書きでですね、従来のコメントを修正する前の資料にはですね、記載していない条件については
0:21:33	同じ表-別紙1-2の三分の1及び三分の2ページの表と同じ条件であると、ということが書いておりますのでその表自身に何かこう、
0:21:48	記載に問題があったということではございませんけれども、実
0:21:55	すぐにですね、パッと見てわかりにくかったと思いますのでそれを補足説明資料の方では、Pファクターを追記する形で見直してございます。
0:22:06	遮へいの補足説明資料の別紙の1の6ページになります。
0:22:19	今画面に映しておりますけれどもここですね、この赤で書いてある、
0:22:26	縦棒でリビジョン1と書いてあるところのPファクターの表が
0:22:32	修正前では書いてなかったんですけども、今回、この緊迫性対応を追加をしたということでございます。
0:22:50	はい。
0:22:56	を、
0:22:57	はい。遮へいの遮へいについてのコメント回答は
0:23:03	一旦以上になります。ここまでで一同聞いてですねご質問いただきたいと思っておりますよろしくお願いいたします。
0:23:13	規制庁松野です。
0:23:17	では質問の方に移りたいと思っておりますけれども、
0:23:21	こちらから何か質問、確認等ありましたら、お願いします
0:23:31	規制庁のゴコウです。
0:23:33	まず、
0:23:35	コメントNo.2番の回答ピーキングファクターのところなんですが、
0:23:42	設定の様子はよくわかりました。それで、
0:23:46	この設定の
0:23:49	ピーキングファクターを全体で平均したら幾つであって、
0:23:52	それを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:54	それを考慮するというので、
0:23:59	保守的な設定になってますというのが書かれてあるんですけども、これは補足説明資料の方に、
0:24:06	保守、これが加瀬遮へい解析の保守性ですよ。
0:24:10	ていうのが書いてある場所がありますけども、例えば 8 ページ 9 ページあたり。
0:24:15	とか、あと別紙 1 の方にも出てきますけど、
0:24:18	こういうところにこの情報が入るといことは何か想定されてますか。
0:24:29	うん。
0:24:32	163
0:24:44	はい。今、確かにご指摘いただきました通り、遮へいの補足説明資料の、
0:24:54	改正遮へい解析の保守性というところでは、ピーキングファクターの設定についての保守性というのは特に記載しておりません。
0:25:07	でしたが、今回、別紙の 5 ですね、
0:25:13	原因ファクターの
0:25:16	保守性というのを覚えておりますので、この部分に、者拘束説明資料の 8 ページ 9 ページの
0:25:28	保守性のところに、
0:25:30	追記させていただきたいと思います。
0:25:35	規制庁のゴコウです。はい、わかりました。
0:25:39	続いてコメントナンバー 3 番の回答のところ、
0:25:46	MCNPV の解析条件とか評価条件とか、そのあたりの話ですけども、
0:25:52	まず簡単な確認ですけども、この F メッシュあたりで、
0:25:56	最大線量率の確認を行ったというのは、これは
0:26:03	ある断面を見ただけではなくて 3 次元的に、
0:26:06	めしを切って、網羅的にここが強い子が、大したことないとそのあたりを評価されて、最大値を決めた、ということよろしいですか。
0:26:25	とりあえずイダですおっしゃる通り各方向が全体に見てですね、最大値を探してます。
0:26:34	はい。規制庁のゴコウですか。はい。よくわかりました。で、もう一つ、
0:26:39	その次の段階で F2 たり、
0:26:43	止めんけん躰と言ってるやつですけども、
0:26:46	これの設定は、
0:26:51	円盤状の平面の設定になってるように読めるんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:56	キャスクの表面を弯曲してますが、その辺りの
0:27:01	違いによる線量率への影響というのは大きくないというそういう評価をされたということでもいいですか。
0:27:11	少々お待ちください。
0:27:32	トランスニュークリアテラダです。実際にその売却した面とですね比較はしておりませんが、
0:27:44	キャスクのその色表面にしても半径が1メートル以上ございますので、
0:27:49	曲率というか何ですかねエンバンと弯曲したもののとの差というものは小さいので影響はないと判断して
0:28:01	西出尾山にしております。
0:28:05	はい規制庁の方向です。感覚としてはもう統計誤差に収まるぐらいの影響しかないので、ここでは、深くは考えていないというそういうことで大丈夫ですか。
0:28:17	プラスチックやってるんです。その通りでございます。
0:28:22	はい規制庁のゴコウです。はい、わかりました。それから同じところでもう一つ、
0:28:32	五つある黒マルの最後のところ、
0:28:35	で、
0:28:37	20個の統計指標であったり、
0:28:40	全体的な線量率分布の連続性から、評価結果を妥当であると判断したとあるんですけども、誤差の空間分布は、
0:28:49	見る予定はないですか。
0:28:56	少々お待ちください。
0:29:24	あ、すみません、トランス新倉シモジョウです。今のご質問の、誤差の空間分布っていうのは具体的にはどのような、
0:29:33	ゴトウを、ご指摘されてますでしょうかすみません確認させてください。
0:29:38	はい規制庁のゴコウです。
0:29:40	不明主体で計算した時に線量率の空間分布というのが出てきますけども、それに対応してる誤差の空間分布ですね。
0:29:51	どこの場所の、
0:29:53	誤差が何%でっていうのを、全体的にマップにしたもので、当然、
0:30:00	10日途中は、
0:30:03	非常に粒子が通りにくくなって、誤差が、10%切らないようなところも当然出てくるというのは理解してますので、そういうところは当然そういう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:13	粒子が等々、
0:30:15	通りにくいから誤差が当然少なくてただ、
0:30:18	特に気にしているのは、
0:30:22	今回、ウエイトウィンドウ法で、
0:30:25	分散低減を使っているんで、ここで設定されたパラメーターに、
0:30:30	不具合があると誤差が急激に変化して、
0:30:33	空間、
0:30:35	線量率の空間分布だけだとまともに見えるけども誤差で見ると、
0:30:40	怪しくなってくるという事例がありますので、そのあたり、
0:30:44	どこまで評価されているのかなというところをお聞きしたいと思ってます。
0:30:51	トランスニュークリアテラダです。線量の分布等々の図誤差の分布も見ておまして、基本的には5%をですね、
0:31:04	5%を切るということで、全体を見ております。
0:31:09	まずたまに1ヶ所2ヶ所ですね高いところがあるんですが、まずそれはたまたま粒子が飛んできただろうということで、基本的には5%以下というのを目安にメッシュ計算を行って、見ております。
0:31:28	はい。規制庁のゴコウです。はい、わかりました。
0:31:32	ここんこの誤差の空間分布で見たいのは午さんの大代償というよりは、やっぱり連続性であったり、
0:31:40	ウエイトエンドパラメーターが妙な、
0:31:43	動作をしていないかっていうところがここから見えやすいので、
0:31:47	10個の統計指標だと、統計誤差の時間変化っていうのは出てくるんですけども、空間的な連続性っていうのは見れませんので、できればここもしっかり
0:31:58	確認して、特に型式指定のときは、データもパーンと出してここまで、
0:32:05	評価結果の信頼性確認してますよと。
0:32:10	提示していただければ望ましいと考えていますので、そのあたりよろしくをお願いします。
0:32:19	とりあえず2フルヤで形で承知いたしました。
0:32:24	はい。規制庁のゴコウです。続いて次のコメントナンバー4番の、
0:32:31	燃料の均質化の効果のところなんですけども、
0:32:34	ここで、今回出していただいたデータなんですけども、
0:32:39	これ容器すず側面方向の表、表面
0:32:45	とか、表面から1メートル当たりの

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:48	要素、
0:32:50	ちょっと評価した例だと思うんですけども、これ事故方向の評価ってのはここ、
0:32:56	この参考文献とか他の、
0:32:59	研究例とか、そういったものはないんでしょうか。今回の評価結果を見ると、
0:33:06	当部軸方向で最大線量が出ているようなところがあるので、縦方向に抜けていくところで、効果があるのかないのか。
0:33:15	辺りが少し争点になりかねないので、
0:33:18	もしそういったデータがあるなら提示していただきたいんですがいかがでしょうか。
0:33:25	トランスニュークリアの下条でございます。今回参照した文献では、事故方向のDたというのは、
0:33:37	示されておりません。
0:33:39	が、
0:33:42	次同じようなですね、
0:33:45	評価で軸方向を時刻の線量率をですね、検討比較検討した結果を持っておりますので、
0:33:57	実は今年6月、このもうすぐ行われ、開催されるパートナーの方で、それ、
0:34:07	当社から投稿する予定になっておりますそのデータがございますので、時価以降ですね、最新のカタログで投稿したペーパーを、
0:34:21	をベースに、軸方向の線量を、線量率2、差があるかないかということを別途ご説明させていただきたいというふうに考えております。
0:34:33	以上です。
0:34:37	規制庁のゴコウですか。はい、わかりました。
0:34:41	その把トラムの、
0:34:43	データがばトラム側で正式に公表されてからこちらの絵の、
0:34:50	説明資料の方に反映していただけるというそういうことでしょうか。
0:34:56	Tnシモジョウですが。はい。その通りですもうすぐですね、6月の上旬、週目2週目あたりで開催される予定だったと思いますので、そこで
0:35:10	発表が終わってからですね、それを参考文献で引用するような形で、この御説明の資料に追加をしたいと思います。
0:35:24	はい、規制庁のゴコウですか。はい、わかりましたじゃ
0:35:28	審査の方で出せるようになったらまた、概要を説明お願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:36	PMシモジョウです承知いたしました。
0:35:40	規制庁のゴコウです。続いて、コメントナンバー6 番の、
0:35:45	回答ですけども、集中性遮へい材の質量減損のところ、まず最初に教えてもらいたいんですが、
0:35:56	回答のページの図が三つあって図の 6-1 と図の 6-3 なんですけども、
0:36:03	図の 6-1 の方だと、
0:36:07	設定温度が三つあってそれが、
0:36:10	次、次回、時間ごとに、
0:36:14	質量現存の推移が書かれてますけども、
0:36:17	6-3 の方だと、
0:36:25	本文の方の最後に書いてますけども、ホンザイ量は 250 度程度まで熱的変化がほとんど生じないことが確認されているっていうこの結論と先ほどの、
0:36:36	時間につれて質量が変化している様子が書かれたグラフと、この二つの関係性を説明してもらえますか。
0:36:46	パースNuclearのシモジョウです。
0:36:49	はい。ちょっと説明が舌足らずなところがありました。まず、図の 6-1 はですね、
0:36:59	3 本度水準 3 条件、実際の使用温度以下、それを若干超えるぐらいの少し加速試験になっておりますので、
0:37:12	高めの温度設定になっております。それで長時間、加熱した時の質量現存の評価を実験的に評価した図になっております。
0:37:25	で、図の 3 はですね図の 6-3 は飛散熱分析で、その材料がですね、あの時、材料の実力として、どのぐらいの温度まで来れるのかと。
0:37:38	いうのを確認した試験になります。その結果 250 度ぐらいまでだったらほとんど実現損が生じていないと、というような結果になっておりますので、その図の 6-1 で示している温度水準ですね、140160189 散水 3 水準で、
0:37:58	評価しておりますけれども、この
0:38:01	評価した温度がですね、例えば 100、一番高い温度で 180 ですけども、その 180 度っていうふうに設定した温度が、寿熱分析で何かこう、もう急激に質量減損が生じるような温度ですと、この
0:38:18	長期加熱試験の試験条件として適切ではないということになりますので、この試験をやった時の時間的なあ系列で説明しますとまず、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:30	下熱分析をやって、材料の実力としてはどのぐらいの耐熱温度があるのかっていうのを確認して、それ近藤範囲内で加速試験、
0:38:40	に相当するような温度水準を決めて、質量現存の評価をすることをしていてということでございます。
0:38:49	以上ですがごめん。
0:38:53	ご質問の回答になっておりますでしょうか。
0:39:03	はい。規制庁のホテでございます。要は示差熱分析でこれでわかるのは、TGのカーブから、
0:39:13	これ、急激に重量が落ちるのが、難度。
0:39:18	300度越えぐらいのところということなんで、
0:39:22	要はごく微量のごく微量の資料に対して、ある一定、徐々に昇温していったときに、
0:39:34	300とかな、300度ぐらいのところから急激に、要は物の分解が激しく起こりますと、それまでは、
0:39:44	顕著な、
0:39:47	顕著な、例えば分解とかそういうの起こりませんと。
0:39:51	それと、資産熱のDpaの方を見ると、ちまちまちまちま上がってて自分が加熱されてるということだと思うんですけども、
0:40:02	このカーブでいうと、このカーブでいっても、350度ぐらいから急激に上がるここで、これ分解が激しくなる、温度が上がるということで、これで
0:40:13	さ、いわゆる酸化とか、燃焼が始まりつつある温度と、
0:40:20	いう。
0:40:22	だからこれまでは、特に燃焼も起こりませんと。
0:40:26	いうふうに理解したんですけどその理解で正しいですか。
0:40:32	Tnシモジョウですはい。まさに今ご説明いただいたその通りでございます。
0:40:38	はい、わかりました。で、確認なんですけどもその次のやつですね、
0:40:47	これで結局、
0:40:49	この材料の特性として一つは、吸熱がないということで、水分とかですね、ある程度熱容量を持つものが、花、離れて、
0:41:01	周りの加熱に対して温度を上げないという効果は、この材料にはないねということで、重量現存のメカニズムっていうのは、
0:41:12	高分子なら高分子の、どういうかな、それが徐々に鎖が切れていくということですよと。
0:41:22	ということをおっしゃりたいということによろしいんですかね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:28	Tnシモジョウですはい。次の、この次のページでガス分析した結果と、今の今、ご説明まさに藤井さん、ご指摘いただいた施設分析結果から
0:41:40	はい。おっしゃる通りでございます。うん。
0:41:45	ここなんですけど均等にね、大体考え方として分解するんだから均等に重量減らしてもいいというふうなことはあるんですけども、
0:41:56	ここまで分析されたら、結局、この図の6-2の方の上のやつが、これほとんどっていうことなんですかね。
0:42:07	どういう認識をしていいですか。この、この今、分析結果をお示しいただいていることから読めることってというのは、6-2の表の
0:42:19	上の四つぐらいありますよね。四つかな、四つで、発生ガス量が非常に他のものに比べて大きいものが示されてると。だからこういうものをこういう形で分解していくっていうことですよ。
0:42:35	という、ということによろしいですか。
0:42:38	Tnシモジョウですはい表の6-1の結果ですねはい。
0:42:47	デーと一酸化炭素とか、はい。そういう
0:42:51	ものと、あと、炭化水素系のガスはですね。はい。主に分解して出てくるガスとなっておりますので、
0:42:59	高分子の材料が熱劣化を受けて、ネット酸化反応で鎖が切れて、アノを分解してガスになって受領検層が生じているというそういう理解でございます。はい。
0:43:15	であれば、例えば、この今回の
0:43:23	エチレンプロピレン系レジンでですねその中の、当然、中性者ですから、水素の下、水素の減損が、
0:43:36	メイン、水素の減損というのが中性子遮へい材としての、どうかな、性能を、の律速になるということになると思うんですけども、
0:43:49	ここで、
0:43:51	要は今のこのレジンの中の水素含有量、
0:43:57	SWISS含有量は何%っていうのはあると思うんですけども、それと、この辺の、要はと、特定のつつたらおかしいけども上の四つなり、
0:44:07	五つなりの、その分子中の水素の量を比較したときに、
0:44:14	ほぼ各変わらないとかですね、むしろこういう、こういうたくさん出るやつよりも均等に出した方が水素の量の減り具合は大きいと。
0:44:24	いうふうなことは確認されておられるのでしょうか。
0:44:31	Tnシモジョウです。ここのその発生したが数、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:36	頭、真ん中の増井減損率っていうのは細かく分析はするところまでは比較検討するところまでは現時点はしておりません。
0:44:50	が、全体の資料現存実際に、
0:44:56	この試験結果からですね、12 ページの図の、
0:45:02	6-2 から評価した
0:45:06	日量現存の評価式から、強化した値を実際の遮へい解析では、大幅に切り上げた質量減損を設定しておりますので、
0:45:20	十分に今ご指摘ありましたように、遮へい中性遮へいに最も寄与する、水素の減損率というのが、十分に安全側に遮へい解析の方で反映されていると。
0:45:36	そういうふうにするために大幅に切り上げて評価をしているということでございます。
0:45:42	規制庁の方でございます。大体趣旨は今、理解しましたけども、
0:45:49	であれば以前の事実確認のところですね、確か 1.5%に対して遮へい解析では、その 3 倍ぐらいの減損を見てるとところのロジックとしてですね。
0:46:00	今、今ご説明いただいたような内容で、例えば全体に減らす代わりに例えば、その現存量を、保守側の仮定として、これぐらいですよと。
0:46:13	実際この特定のたくさん出るやつに対して、分の水素の量と、水素の含有量等、こちらがより加えた例えば、
0:46:23	2 割増しぐらいだけど実はこんなに保守側を取ってますとかね、そういうふうな、何かロジック構成して、その 5%としてやってるところの、何となく保守性、何となくここまでやるときゃいいだろうっていうのではなくって、
0:46:37	こういう考え方でやれば、
0:46:42	ごめんなさい。すいません。今の数値は申し上げます。だから、解析で仮定しているところ、解析で解析条件として入れてる。
0:46:53	何だ。
0:46:56	要は現存量と実際の 60 年間で想定される現存量、そこに対して、一つの考え方として、
0:47:07	こういうものが現存するんだけど、ただ、こういう考え方でやってんだけどこういう考え方でやる代わりに例えば、これぐらいの保守性を持つてるといふことで、こんな考え方でやったと。
0:47:20	いうふうなご説明を、
0:47:23	んであれば何かロジックが全部繋がるんじゃないかなという感じがいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:28	ちょっと感想みたいになっちゃいましたけどその辺ちょっと全体でどう考えたからこうなのかっていうところが、要は補足説明資料なりで読めるような形にしていただければ結構ではないかなと思います。
0:47:44	はい。ディー・エヌ・エーの下条です。コメントの趣旨は理解いたしました。ちょっとどのように、要は遮へい解析設定している質量減損率の設定の保守性
0:48:03	妥当性、或いはまだ保守性といえますか、それを、今お見せしているガス分析のそういう結果から、つなぐつなぐといえますか妥当性を説明できる或いは保守性を説明できるような、
0:48:17	アース説明を追加してくださいというふうなコメントだと理解いたしました。ちょっと具体的にどういう説明できるかは検討しますがちょっと
0:48:28	どういう説明できればですね。はい。
0:48:31	と考えています。以上です。
0:48:38	はい。規制庁のゴコウです。私から申し上げたかったともその辺りなので、検討もよろしくお願いします。
0:48:47	で、次は、
0:48:51	補足説明資料の中の記載の話をちょっと聞きたいんですけども、
0:49:00	資料 16-3-別紙 1 の 27 ページから 28 ページあたり。
0:49:11	えーと、
0:49:13	詳細の評価条件の統計指標に関する、
0:49:17	記載が、
0:49:21	加えていただいたところ、
0:49:23	ですけども、
0:49:25	まず、27 ページの、
0:49:31	最後の 2 行のところですね、Fメッシュたりによる線量等量率分布の結果とよく合っていることを確認して、
0:49:42	とか、その辺りなんですけど、
0:49:45	ここ出てくるよく合っているっていう表現なんですけども、
0:49:51	これ具体的にどうどういう子、
0:49:54	ことなのかもう少し、
0:49:57	定量的な表現っていうのはできないですかね。例えば、誤差の範囲内で一致していますとか、
0:50:05	そういったところをちゃんと、
0:50:07	見ているのか、見て何となく。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:11	近いからOKと、というような判断で済ませているのかその辺りはいかがでしょう。
0:50:19	少々お待ちください。
0:51:04	PNのシモジョウです現状ですね今ご指摘の点、よく合っていることっていうのは細かく誤差を比較して、デフ梅酒たりの当該評価点と、
0:51:21	そのあと計算している面積をで評価した場合、とのですね誤差の比較というところまではちょっと細かく、今現時点ではしておりませんで、
0:51:33	評価結果がですね、大きく異ならないということだけを確認してこのような表現にしております。
0:51:43	ただですね
0:51:47	計算結果をですね今ご指摘いただいた通り、通り、オーサーを比較するようなことをして確認することは
0:51:59	できると思います。以上です。
0:52:03	規制庁のゴコウです。
0:52:05	この部分なんですけども、今挙げた分のすぐ上のところ、
0:52:13	これをやっている理由っていうのが、次のページにある所、10個の統計指標の確認した上で、すべてがイエスになっていない、満足していないという、ノーの表記が出ているところの確認としてこれをされていると。
0:52:27	という説明なんですけども、次のページに載せてもらった別紙1-8表で、
0:52:33	統計指標を項目ずらっと書いていただいて、
0:52:37	これが、
0:52:44	一般的な、
0:52:47	見方として、これが全部イエスにならないと、
0:52:52	この
0:52:53	このときの評価結果は信頼できませんという話ではないというのはいろんなところに、
0:53:00	そういう研究があるのでそれはそれで、
0:53:04	そういう評価でも構わないとは思いますが、
0:53:08	まずこの表の中で、
0:53:12	統計指標として例えばREDY部エラーとして、その確認目的が、統計的な精度を表す指標であると、次のバリア側バリエーションの確認目的が、
0:53:24	相対誤差、先ほど先ほどのれらてフェイラーですね、統計的な精度を表す指標である相対誤差の確度を表す指標である。
0:53:32	この、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:33	ここで言う角度っていうのは何を表していて、これがもし仮に、
0:53:38	それ納品統計指標三つありますけどどれかがNOになったときに、
0:53:43	先ほどの、よく一致していることをもってこれが補填できるんだっていうのが、
0:53:50	土肥。
0:53:52	評価する人がこれを理解して説明ができないと何の意味もないと思いますので、
0:53:58	この相対誤差の角度を表すっていうのは何をみているのかとか、その次のフィギュア部メリットの、
0:54:06	確認目的あたりの信頼性を表す指標であるってこの信頼性っていうのは何を言い、言いたいんだっていうのを、ある程度、説明して、説明できる状態で、かつ、これが、
0:54:20	仮にノーであったとしてもこういう、先ほどの、
0:54:25	エフエススリーの
0:54:28	確認を、
0:54:30	確認をしてよく合っていれば、これが、
0:54:33	脳がESを見ても、差し支えないっていう説明になるんだっていう辺りを、説明できるかどうかなんですけども、その辺りはいかがでしょう。
0:54:50	考えて。
0:54:53	少々お待ちください。
0:56:59	すいませんお渡ししましたTNの死亡状です。先ほど、NOですね 27 ページの最後のまた以降の文書のところでは、
0:57:12	ちょっと現状の書き方がですね事故の統計指標がになっている場合もあって、その場合であっても2人のその線量分布、
0:57:24	の結果、その連続性とその結果が出ること。
0:57:28	を確認して、妥当と判断しているという中 19 の統計指標と、2人との線量分布の位置っていうのはですね関連づけるようなちょっと記載になってしまっているんですけども、
0:57:41	必ずしもそこを何か関連づけて評価をしていると、妥当性を評価していると、ということではございませんでした。
0:57:54	はい。なので、受講の統計指標は統計指標として、
0:58:00	見えています。必ずですけども、必ずしも15アノ100点満点でイエスになっていない場合もありますと、それはそれとして見えていますと、で、あともう一つはFメッシュのオープンブームッシュで調べた。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:17	分布の連続性を確認していることと、あとメンタリング、A部Ⅱの弁形式で最終的に評価した結果が、
0:58:29	of名詞で評価したその線量分布を、
0:58:35	の連続性とかを確認した時の結果と、大きく変わっていないということ を、必ずしも十分漏えいし指標と関連づけているわけではないんですけ れども、それぞれ別々に行って解析結果の妥当性を判断していると。
0:58:52	ということでございますのでちょっとこのですね今ご指摘があった文章で すね今ゴコウさんからご指摘のあった通り、
0:59:02	こういうふうに書くと、何かその事故の統計指標を補完する形でそのFメ ッシュの結果というか、いうことのように読めますので、ちょっとこの文 章の記載については
0:59:15	説明を少し修文させていただきたいと思います。以上でございます。
0:59:25	規制庁のゴコウです。その辺の評価の方針については自社の中でよく 検討して、実際に行おうとしていることをきっちり書いていただければ、
0:59:37	いいと思います。
0:59:39	統計指標の方は、
0:59:44	これ先ほどの、
0:59:47	コメントの中にも含めましたけどもここで評価してる統計指標というもの がどうどういったものなのかっていうのを簡単に説明できるようにしてい ておいていただきたくて、
0:59:58	例えば0伊達フェラーの
1:00:01	値が、
1:00:03	判断基準として0.1以下であることっていうのは、かなり大きなウエー トを占めるところになるのでこれがノーであっても、他がイエスだから別に いいという判断を勝手にやっぱりされても、
1:00:15	信頼性がなかなか高まってこないの、
1:00:18	この辺りはしっかり
1:00:22	DMとしてはちゃんと理解して、適切に評価して、
1:00:28	この項目は重要であるから必ずここはやっぱりイエスを取らないといけ ないでしょうと。で、
1:00:34	別のある項目はなかなか
1:00:39	全部がそろ
1:00:41	ような状態になるのが難しいので、場合によってはとしても、他のところ で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:46	いろんな信頼性を見ているから大分最終結果にが、信頼性を損なっているということはありませんよっていうのが、説明できるようにしていただきたいので、
1:00:58	少なくともこの
1:01:00	Aと、
1:01:02	相対誤差の角度っていうのは一体何を言っているのかって、こういったところ、
1:01:07	ちょっとこのバリアをズボンざバリエーションで説明しろってのがすごく難しいと思いますけども、
1:01:13	少なくともどういったことを言おうとしているのかというのは簡単に説明できるようには用意しておいていただけると、
1:01:20	良いかと思います。以上です。
1:01:27	ディー・エヌ・エーの下条です。はい承知いたしました。
1:01:45	規制庁のトガサキです。
1:01:48	ちょっと私もさ確認したいことがあるんですけど、
1:01:53	まずうパワポのですね
1:01:57	資料の
1:02:00	9 ページで先ほど説明があったピーキングファクターの
1:02:06	ところなんですけど、これ補足説明だと、
1:02:14	もう最後なんですけど別紙の午後の
1:02:17	2 っていうんですね。
1:02:19	これ一の、ちょっとマスキングになってるんですけど、左の方が濃い一部
1:02:29	あれですね重なってるように見えるところが、
1:02:34	あってあと別紙 5-2 の表の方でも、
1:02:39	右の上の方ですね。
1:02:44	この部分っていうのはあれだ範囲が違うから、こういう、この範囲でこうやって火線を引いてしまうと、こういうふうに、
1:02:53	赤ペンを途切れてしまってるところがあるっていうことなんですか。
1:03:04	はい。TMシモジョウです。ご指摘のポイントはですねはい。
1:03:11	近江今現状、提携 26 で設定しているピーキングファクターの自己方法の刻み幅とですね、OECDのDたの。
1:03:25	事故後の北見幅がちょっと違うところがあり、必ずしも同じではないので、その差がですね、一番左、左の端の方でちょっとごく一部ですね。
1:03:39	ごくわずかですけども

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:42	ちょっと完全に
1:03:48	ちょっと保守性を担保するようにカバーしきれていないポイントが、このオク1がありますと、ということです。ただしですねこの部分につきましても
1:04:02	そこの擬木一部PK26で、赤、赤の
1:04:09	ポイントですね品ファクターが
1:04:13	北から2番目の階段のところがないですけどもその部分で5本のごくわずか逆転しているだけで、その前後の部分はですね、
1:04:26	OECDで示されているデータを大きく、ご指摘に、高めにカバーしておりますので、そこのごく一部、ちょっと逆転している今度ごく一部逆転しているように、なところありますけれども、
1:04:41	全体的な不正には影響はないというふうに考えております。
1:04:48	はい規制庁のトガサキです。米四、五号の1の2ポツの、
1:04:55	二つ目のパラグラフの2行目がちょっと気になったんですけどちょっとそ、そこら辺の今説明あったようなことってここ2、書けないですかね。
1:05:07	はい、Tnのシモジョウです。
1:05:11	はい。今ちょっとそこの細かいところまでは説明が書き切れてないと思いますので。はい。今、口頭でご説明したような内容趣旨のことを、
1:05:25	補足説明資料の方にも記載するようにいたします。
1:05:30	はい。お願いします規制庁のトガサキです。続いて
1:05:35	パートの1011ページで、これはちょっと比嘉空が赤枠ので囲んだ二つを、
1:05:45	比較してほとんど差がないって言うんですけど。
1:05:49	甲斐関井自体は、
1:05:52	赤枠の外の左の方の均一化をしてるのではないんですか。
1:06:01	すいませんちょっと今コメントされているところがちょっとよく理解できません。もう一度お願いできますでしょうか。11ページパウポの11ページの、
1:06:12	はい。このほとんど差がありませんっていうのは、
1:06:16	赤尾久野で買ったあの二つを比較してると思うんですけど。
1:06:23	解析の均一化っていうのは、
1:06:26	赤枠の左の方の均一化ではないんですか。
1:06:33	土岐ニシムラ今パウポの11ページのご指摘があったのはこのコメント回答資料のパフォーそその赤で囲った、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:45	二つを比較してほとんど差がないというふうに説明されてるんですけど。
1:06:52	はい。解析は、赤枠の隣に枠がないモデルありますよね。
1:07:00	はい。それでやってるんじゃないんですか。
1:07:04	PNCオルソそうではないです。
1:07:07	実際遮へい解析の遮へい解析の均質化は、ここのこの11ページの宇津で言いますと、
1:07:18	ホームジーニアスモデルの2という、
1:07:22	それに相当する
1:07:24	均質化をしています。
1:07:26	わかりました。そういう、
1:07:29	あれなんですかね均一化なんですかねだら集合主任本体午後の範囲では、均一化してるということですか。
1:07:37	その通りでございます。秋野シモジョウその通りです。はい。わかりました。規制庁のトガサキで、あとその下の方の表で、
1:07:47	γ QADとの比較をしてると思うんですけど、
1:07:54	これがガンマQADの方が、
1:07:57	岩盤法センミョウ。
1:07:59	線量なんですかねここちょっと高いと思うんですけど。
1:08:03	これの何か説明ってのはないんですか。
1:08:08	TNのシモジョウですが、
1:08:13	今ここで着目しているのはあくまでもMCNPマークの引用した文献の中では、 γ 線については、QADでも評価をしていたんですけども、
1:08:28	今あくまでもTKがた一で使っているのはMCNPですので、そこについては特に
1:08:36	着目して、何か違い等は説明しておりませんちょっとこの文献の中で何かQADでMCNP-3について、何か
1:08:47	述べられているかどうかっていうのは、ちょっと確認していますけれども、経営についてを確認して、
1:09:00	以上です。
1:09:01	はい。答弁先です。QADのがやっぱ保守的になるってということなんですか。
1:09:09	Tnシモジョウです。はい。
1:09:12	この、今回引用している文献んから進みますと、この結果からQADの方が保守的な、計算結果替えられているということになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:25	はい。以上です。
1:09:28	はい、わかりました。
1:09:31	あとパワポの次の 12 ページなんですけど、
1:09:36	12 ページで、じゃあさ、先ほどちょっとご説明があったところに関係するんですけど、
1:09:42	ほそ食う説明資料の、
1:09:46	別紙 1-2、24 の、
1:09:50	下から二つ目のパラグラフを見ると、これ枠で囲ってあるんですけど、
1:09:57	その数字と、このパワポの、
1:10:00	12 ページの関係を見ると、図の 6-2 で、
1:10:06	2 の、劣化パナメータっていうのは、
1:10:09	そのパラメーターで横軸のパラメーターで縦がパーセント提示なんですか。
1:10:18	DNシモジョウです。はい。その通りです。
1:10:21	す規制庁トガサキそうするとこのパワポで書いてあるパラメータの数gまで、
1:10:30	図の 6-2 っていうのは線が引いてないと思うんですけど、そこはもう問題ないんですか。
1:10:42	すいませんもう一度ご質問、佐瀬です。補足説明資料に書いてある劣化パラメーターの数字っていうのは、
1:10:55	パワポの図 6-2 の、
1:11:00	横軸の、
1:11:03	前がないですねそこまで
1:11:08	はい、それでも問題ないんでしょうかっていう質問です。
1:11:17	あとTM、志茂町です。
1:11:25	等はいご指摘の通り、動くwasカーですけれども、取得したたからすると少し若干外挿になっに入っているところがありますが、
1:11:42	はい全体的な傾向として、
1:11:48	直線が今度直線的な傾向に変化がないというふうに判断してございます。
1:11:55	はいわかりました。
1:11:58	ちょっとそこら辺はその適用範囲とかあれですよねそういう、
1:12:03	だから、LmP-での評価の適用はいいとかをどういうふうに考えるかだと思んですけど、が何かもうそこまでデータ取れてれば外挿できるっていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:17	こういうことであれば、
1:12:18	そういう説明も必要なんじゃないかなと思うんですけどいかがでしょうか。
1:12:26	はい。TNのシモジョウ所です。
1:12:33	はい。そうですね。
1:12:38	トガサキですけどまだその図の 6-2 で求めたのではないんであれば、
1:12:44	いいんですけどその図の 6、6-2 から求めているんであればちょっと説明がちよっと足りないと思いますので、
1:12:52	補足をされた方がいいんじゃないかと思います。
1:13:00	TN、
1:13:01	シモジョウです。はい。承知しましてちょっと検討いたします。
1:13:08	はい。
1:13:08	それとあと、ちょっとここ、今度、補足のほうでちょっと
1:13:14	ちょっと説明をお願いしたいのが、別紙 1-6 で、この下の付表の追加もいいんですけど
1:13:25	14 のところの説明っていうのはちょっとわかんなかったんで教えてもらえますか。
1:13:34	すいません。別紙 1-1-6 のピーキングファクターの数字の表を追加していただいたところは、
1:13:45	それはいいんですけど、今先ほどご説明があったんで、
1:13:49	その上に注 4 というのが追加されてるんですけど、その説明をお願いします。
1:13:57	補足説明資料です。
1:14:04	補足説明資料の別紙 1 の 61-6 です。
1:14:23	9-4 はですね、はい
1:14:28	これは、
1:14:31	コメント回答資料の方の、
1:14:34	これが、
1:14:36	報告でいきますと、1 の、
1:14:39	1-1 と 1-2 に関連するところになります。一応、
1:14:45	十河です。
1:14:58	コメン等、管理表のコメント番号の 1-2 ですけども、前回ですね三級燃料三級機側との燃料の
1:15:12	濃縮動の設定の考え方っていうのが、48 ギガ燃料と違う。
1:15:20	ではないかというご指摘をいただきました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:24	その回答といたしましては、この 1-6、
1:15:29	コメント管理表 3 ページのナンバー1-2 のコメント回答のところに書いてあります通りで、安全側安全機能の評価で、48 が燃料を代表を、
1:15:44	代表燃料として線源強度を設定しております。
1:15:49	その線源強度に包絡される範囲で、三級ギガ燃料の一部出走カーの燃料につきましても、
1:15:59	含めるということにいたしました。
1:16:03	それがこのコメントを前回いただいたコメント 1-2 に対する答えになります。で、その内容をですね今、遮へいの説明指導で、
1:16:15	補足、追記すると
1:16:19	すると、ここの別紙の補足説明資料の別紙の 1-2 表の括弧三分の 3 の
1:16:29	三級燃料三級ギガワットの燃料の初期濃縮度のところに、今コメント回答でご説明したような注記を、4 番、注の 4 として、
1:16:42	記載を
1:16:44	させていただいたということでございます。
1:16:47	以上です。規制庁の藤克明ですそうするとあれだから、この遮へい設計上は濃縮度は小さいほうが保守的で、
1:16:58	三級燃料の場合は、
1:17:00	所増加で、山丸の訴訟だと小さい濃縮度があるので、
1:17:07	その一番小さいのをII書いたという理解でいいんですか。
1:17:13	Tnシモジョウです。線源強度を計算する時は、濃縮度を低めにした方が、高め、安全が保守的なあ結果がえられるということはその通りでございます。はい。
1:17:26	39 燃料の場合もこれが主装荷燃料全部すべて 100%の消化燃料をカバーしているわけではございませんけれども、今の代表燃料として設定している 48 ギガの線源強度に包絡される範囲で、
1:17:42	含められる範囲の初期濃縮度を低めの値として設定をしたということでございます。
1:17:54	規制庁のトガサキです。ちょっとそこところが、例えば 4 万 8000 のところにはそういう注釈がついてないんですけど、
1:18:04	だから、ここのJC1-6 で言ってるのは、4 万 8000 円の条件に包絡される範囲で、一部のっていうのは黄砂 3 万 9000 円の
1:18:16	所装荷燃料をっていうふうに考えてよろしいですか。
1:18:21	いえシモジョウですはい。1 分っていう、はい。9000 円。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:28	うん。燃料です。だと、そうずっとそれがわかるように、要はですね、この7、なんでこの4万8000円とかが、
1:18:37	何も注釈ついてなくてこれもいろんなこの値上どの範囲でいろんなあれですよね。
1:18:46	燃料はあると思うんですけど、
1:18:49	でもみんな一律濃縮とか同じなんですよね。ただ、こっちの別紙1-6は、
1:18:57	2種類の2種類の濃縮度があると考えていいんですか。4万8000円と3万9000円。
1:19:03	そのうち低い方選んだということなんですか。
1:19:10	DNシモジョウです。
1:19:15	今の国面、
1:19:16	その趣旨は、
1:19:20	4万8000の方、
1:19:26	この別紙1-2報の三部のうち、
1:19:33	ページとか3の2ページで4万8000円の4万8000型の円料の
1:19:40	濃縮度を設定しています。で、ここの設定した濃縮度で
1:19:47	TK26型の線源共同代表的な線源共同を設定して遮へい解析をしています。一方3万9000型の燃料については
1:20:01	代表燃料にはなっておりませんので、その4万8000形で設定した線源強度に包絡される範囲で、可能な範囲で息子首藤職員、
1:20:14	当初装荷燃料の低い濃縮度も含めた濃縮度を設定して
1:20:21	小、PL型に収納できる。
1:20:28	燃料条件として、
1:20:30	含めたということでございます。
1:20:34	すいませんトガサキですけどちょっと先生ちょっと私の中で今整理、
1:20:40	できたと思うんだけど、要は、4万8000の時の濃縮度っていうのが決まっています、
1:20:47	3万9000の時の初期濃縮度っていうのが決まっています2種類あるんですけど、この4万8000円の方は4万8000しかないの、
1:20:57	その濃縮度はその値を書いているんですけど、この3万9000円の方は、3万9000円と4万8000円の濃縮とか、2種類あるから、
1:21:09	だからその低い方を書きましたってそういうふうに整理でよろしいんですか。
1:21:16	DM-シモジョウです3万9000円の方の。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:20	濃縮度っていうのはその4アノ4万8000型の摺動もあるということではなくてサノ3万9000円方の主書記の仕事ってのはそれはスススッアノ。
1:21:30	燃料の初期濃縮どうです。4万4000円方の湯。
1:21:37	4万8000方の初期濃縮度はその燃料の初期濃縮度があります。で、
1:21:44	もちろんご存知だと思いますけれども燃料の中では最初に炉を立ち上げる時に、主層間の燃料は意図的にその反応度を抑えるために、濃縮度低めの燃料を、
1:22:00	入れて原子炉建屋立ち上げますので、ここの3万9000型の方では、その形状状態っていいですか
1:22:11	降雨の運転が軌道に乗ってきたときの、造修クドウがある濃縮度があるんですけども、初期濃縮度はそれよりちょっと低めの燃料がありますので、
1:22:23	その3万9000型のの経常運転になってからの初期濃縮動の再提示、
1:22:30	と、あとそれに加えて、勝訴一部の所装荷燃料の濃縮度も、を含めて
1:22:40	収納条件2府入るようにですね、TP26型に収納できるような条件として設定をしたということでございます。
1:22:49	すいません規制庁のトガサキですけど、菌田4要はですね4万8000のところにはその注釈がなくて、3万9000の方にはちょうど中さ注釈があるんですけど、
1:23:01	その注釈の必要性和その注釈の言ってる内容ですねだから今、4、3万9000円なんですけど4万8000との関係で、
1:23:12	抱えててさらに所装荷燃料の話どっかとか書いてあるんですけど、そういう話っていうのはその4万8000の方には、必要がなくてその3万9000の方は必要があると思うので書いてると思うんですけど。
1:23:26	そこら辺がちょっと理解ができないので、
1:23:32	ちょっとそこら辺をもう少しわかるように、
1:23:36	注射食う、あれですかねもう少しわかりやすくしてもらおう。
1:23:42	いれればいいんじゃないかと思うんですけどいかがですか。
1:23:47	はい。
1:23:49	ご質問の意味はわかりました。
1:23:52	もともとですねそのコメン等の1-2、いただいたコメン
1:24:00	とか
1:24:01	サンキュー。
1:24:03	三級ギガワットの燃料、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:11	お仕事がですね。
1:24:13	その者の線源強度の設定に割ける濃縮度と整合してないんじゃないかという趣旨のコメントをいただいたので、このような
1:24:28	注意をさせていただいたんですけども、
1:24:34	ちょっとお待ちください。
1:24:47	はい。
1:25:08	えっとですね
1:25:10	先ほど申しましたように山九、
1:25:13	山九ギガワットの燃料もその運転が、形状状態といいますか、軌道に乗ってきた時に使う、
1:25:25	燃料の初期濃縮度としては、ちょっと具体的な数字は覚えてないですけどももうちょっと高いんですね、3.5%等前後だったと思いますけれどもそのぐらいの濃縮だったと思います。
1:25:40	そういう軌道に乗っていた時に使われる燃料を、の初期濃縮度と比べると、今回TK26 型の三級燃料ね設定している濃縮度が、
1:25:55	ちょっと菊低すぎるんじゃないですかというコメントをいただいたので、今、この注記の4ですね、2、2 書いているような一部の種装荷燃料も含めた濃縮度を設定したものであると。
1:26:08	いう説明をさせていただきました。ちょっとそれだけを資料のその部分だけを読むとですねそういうコメントの背景等を
1:26:22	深尾。
1:26:23	含めて、説明しないと、は、確かにわかりにくいところがあると思いますので、ちょっと注記の書き方ですね。
1:26:33	はいもう少し
1:26:36	わかりやすい注記の仕方は何かもう少し検討させていただきます。
1:26:45	すいませんちょっとうつあま後でちょっとまた具体的に書いてもらうんですけど、あれだ、ここの今ちょっとわかりにくいのがその4万8000円型の線付近条件に包絡される範囲でっていう、
1:26:59	ところが、何で4万8000の話をここでしてるのかがわかんなかったんですけど、3万9000円のしか入れられないんですけど3万9000円には予想か燃料もあるので、
1:27:12	その場合はアノの賞金が濃縮度が低くなるので、そういうものも考慮して低い方をかけました。で、その条件としては、
1:27:24	その4万8000円の弧状条件の中に入るように、どれを、あれですね所長金ウダ、どれぐらいを消化じゃないのかっていうのを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:35	選びますっていうそういう意味ですか。
1:27:39	KーシモジョウSはその当時、今誤解されている意味がやっとわかりましたこの中の4で4万8000型の線源強度に包絡されるっていうところのその記載が、ちょっと、
1:27:53	説明がうまく伝わっていなかったということがわかりました。はい今
1:28:01	整理いただいた通り、いいです。要は、もう一度私も説明もう一度させていただきますと、まず、TK型キャスクニス、
1:28:13	の機能設計遮へい例えば遮へい解析で評価するときの代表の
1:28:19	制限強度の使用燃料使用というのは、4万8000型の燃料を、の線源強度を設定いたします。
1:28:30	3万9000円方は、それに包絡される条件に、なので
1:28:36	機能設計上、3万9000型の機能設計というか特別に遮へい解析等を行いませんで、その時にその4万8000型の線源強度等、
1:28:49	3万9000型の線源強度を比較して、3万9000方は、遮へい解析等で使っている線源強度運用、発生型の線源強度に包絡される条件。
1:29:01	の範囲内で、入れられるだけの燃料を入れるというふうにしたということです。ですので、あくまでも伴ということです。
1:29:12	あとはTBL型の線源強度の計算に使っている4万8000型の線源強度の方が企画推進部長になってまして、それよりもそれを超えない。
1:29:24	それを補ですけども、小さく、すいません、ちょっと非常に苦しいご説明は十分理解するんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	ええ。
0:00:01	燃焼度最高燃焼度が 3 万 9000 まで燃焼させたとしても、4 万 8000 円が他ので設定している、制限強度 2 を下回る包絡される。
0:00:14	県民強度になりますので、
0:00:18	装荷できる対象の燃料としては、3 万最高燃焼度が 3 万 9000 円まで、衛藤伊勢は、燃焼度は 3 万 9000 円以下であって、濃縮度は、
0:00:30	何%以下、燃料、
0:00:33	そういう条件であれば、そういう条件の 3 万 9000 型の燃料であれば、NT26 型にも収納することができると。
0:00:44	いうことでございます。
0:00:50	規制庁ホデですけども、
0:00:53	今の御説明最初から書かれた方がしょそうかとかまじそう、そういう話するからね、ちょっとあれっちゅう話になるんであって、例えばプラントの中に、まじ装荷の燃料かもわかんないし、山九の以前の前、お話ししたかもわかんないけども、
0:01:07	3 万 3000 とか 3 万 6000 とかね。
0:01:10	今から 40 年ぐらい前のように 3.4%燃料というのが昔確かあったと思うんだけど、その遠慮も一部残ってるかもわかんないんですね。ですから、
0:01:21	そういうものも含めてね、山九より以前の燃料でこういうものもあるんで、要は保守側にそれらを包絡するように、こう考えたというふうなね、説明の方がシンプルになるのではないかと思います。以上です。
0:01:37	はい。もう少しTnシモジョウです今の、
0:01:42	説明をそういう補足の、ちょっと整理さんに整理いただいた内容も含めて、ちょっとこの注記の書き方、
0:01:55	もう少し西方、
0:01:57	したいと思います。
0:02:01	はい。規制庁のトガサキでちょっと最後の質問なんですけど
0:02:06	補足説明資料の 5、別紙の 4-5 の、
0:02:12	赤字部分のこついかーの
0:02:16	ちょっと、
0:02:17	説明がちょっとあったのかわかんないんですけど、小令和、
0:02:23	この 123 は、
0:02:25	らんるロスアトムデイジー済みであるため、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:32	対象、対象外とするというのは、
0:02:35	これはまず、対象外とするのはどういう意味なんですか。
0:02:48	すいませんそこなん。まず、どのコメントのとか回答かっていうのをまず教えてもらえますか。
0:02:56	今映しましたけれども別紙4の5ページですね、今ご指摘いただきました赤字部分のところはあるところですよ。
0:03:11	ここはですねコメント管理表で言いますと、
0:03:18	5番、駒田今回、正式なんですけど、これ、
0:03:24	まだ
0:03:26	正式にはコメント回答ではなくて、また詳細には次回以降へのコメントを回答させていただこうと思っております。
0:03:37	がちよっと一部ですね、
0:03:41	前回遮へいの補足説明資料のリビジョン0で書いていた内容と、今検討中なんですけれども具体的なもう少し
0:03:52	説明を充実させる資料を今検討中なんですけれども、その検討してる中で、リビジョン0で書いていた内容等、ちよっと説明の方針を少し、
0:04:07	変わっており、変わってきており、以降のところだけを、その赤字で書いた
0:04:16	ようにですね少し修正をさせていただいたということでございます。リビジョン0のときは、このモデルのということでございます。
0:04:28	入れるのを、原子力学会標準の中で、一番の概念モデルと2番の数学的モデルとさ、3番目が、物理的モデルで4番目がシミュレーションモデルの予測性の判断という四つありますけれども、
0:04:42	ビジョン0の資料では1度2のについての説明はこれについては炉サックスの方で実施済みと。
0:04:53	いう説明をしていたんですけれども、ちよっと資料を検討してる中で、
0:04:59	一番と2番と3番までが、コードを開発してあるサランボスの方で実施済みであるというのが正しい説明等ということでこの記載だけを少し、
0:05:13	先取りする形で修正をさせていただきました。もうちよっともっと具体的にもう少し細かい詳細な説明を、
0:05:25	次回以降コメント回答、コメントNo.の5番のコメント回答として、実施させていただく予定でございます。以上です。
0:05:35	規制庁のトガサキですちよっと方針がちよっと私、
0:05:41	理解できてないかもしれないですけどただ確かこのMCNP、ファイブコードノダを扱った妥当性で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:52	定量的に説明するのか定性的に説明するのかで、
0:05:57	もういろんなことをアノことをやられてるからその定性的、定量的に説明されるっていう方針なのかと思ったんですけど今の、
0:06:07	別紙4の5を見ると、(1)に(3)がロスアラームで実証済みってなっていると、それは多分日本ではまだ
0:06:18	定量的な妥当性っていうのは、
0:06:22	学会の標準とかで、
0:06:26	認められてないと思うんですけど、(4)の方は、ちょっと下をここで見ていくと、傾向が概ね一致してるっていう理解を書いているんですけど。
0:06:38	そうずっと定性的で説明する方針ということなんですか。
0:06:47	植野シモジョウです。
0:06:54	ですね
0:06:56	定量的、もう少しこの
0:07:02	そこのところ説明っていうのはですね、全く形跡が計上できたというのがちょっと
0:07:12	ちょっとうまく説明できないんですけども今、説明しようとしている今考えている方針といたしましては、
0:07:22	一番2番3番の項目についてはもうすでに、コード開発2番3番の報告についてはもうすでにコード開発元であるろサービスの方で、いろんな
0:07:35	計算、モデル化のだとそういう三つの現状が標準で言われてる今この三つの項目については、今の
0:07:46	もうすでに実施されているというふうに考えておまして、その、そういうふうにして開発されたMCNPコードを、それからMCNPコードを、
0:07:57	その相対的に適用する時に、4番のところで、
0:08:04	ベンチマーク計算をした文献がありますのでその文献の中で、このシミュレーションモデルの予測性のキャスクへのキャップ会計への
0:08:15	説明、なお、解析に使うことができる、MCNPポートが使うことができる、妥当な解析コードであるということを、4番でベンチマーク文献を参照しながら、
0:08:30	詳細に説明をさせていただきたいと、いうふうに考えております。その辺りの説明はですね、まだちょっと次回以降もう少し文献の中身を説明をしながらですね、
0:08:46	今現状ではちょっと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:49	漠然とした書き方しかできておりませんが、傾向が概ね一致イシイというようなことでは書いておりませんが、その中身につきましては次回以降、コメント回答の中で、
0:09:03	説明させていただきたいというふうに考えております。
0:09:06	以上です。わかりました。次回以降の方針だけを、
0:09:13	赤字で示されてるっていうので理解はしたんですけど、あとちょっと念のために先ほど別紙の 1-25 で、詳細評価条件で説明があって、最後に、
0:09:27	10 個の統計指標の確認っていうのをやられてるんですけど、それぞれ、その説明と先ほどの今後の、
0:09:37	モンテカルロもう妥当性検証等との関係あるのかないのかっていうのをちょっと教えてもらいたいですけど。
0:09:47	ディー・エヌ・エーの下条です。
0:09:50	あるかないかと言いますと、このMCNPコードのここの適用の妥当性っていうところと先ほど説明した、塾の統計指標ですとか、
0:10:02	そういう説明っていうのは直接関係ないというふうに思っております。
0:10:10	あくまでもここの適用の妥当性のところでは、MCNPコード。
0:10:16	一般的な輸送の
0:10:20	放射線粒子の輸送のモンテカルロ計算行動が、キャスクの体系でもちゃんと
0:10:31	適用してスタッフ使うことができる解析コードであるっていうことを説明するのがここの解析コードの適用の妥当性というようなところでして、先ほどの 10 個の統計指標とか不明主で連続性とかって言いましたのは、
0:10:48	その実際にAMCNPの計算を、をするときに、その評価方法としてですね、どういうところに注意して、計算をしないといけないかと。
0:11:01	いうところを、説明するものですので、
0:11:06	直接何かここの適用妥当性と先ほどの 10 個の取り消し表というようなところが直接何かリンクしているというものではないというふうに思います。
0:11:15	はいわかりました。私からは以上です。
0:11:29	規制庁サクライですけどすいませんマスクング箇所についてなんですけど、コメントか。
0:11:36	コメント回答の表の 9 ページ。
0:11:48	下から文書の 2 行目平均値は何々であり、燃料有効部全体で何%のところまでこれマスクングじゃないですかね、公開資料の時もマスクングし、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:01	しますかね。した方がいいんじゃないですかね。
0:12:05	別紙 5 のイシマル。
0:12:07	はい。
0:12:08	はい。
0:12:09	はい、PMシモジョウですが今のご指摘いただいた箇所はマスクング箇所です。補足説明資料の方ではマスクングをしていたんですけども、ちょっとこの資料でマスクングするの、ちょっと
0:12:26	出演しております、冒頭、一番最初に説明する時に、ちょっとここマスクング忘れてましたっていうのは申し上げた通りでございます。
0:12:37	それと、(1)のRJ3 のこの図とやっぱ、
0:12:43	補足説明資料の別紙 5-1 のこのピーティングパックたの図って同じってことでいいんですね。
0:12:53	すいません補足の別紙 5-1 のこの図と、コメント回答。
0:12:59	表の、ページ 9 の、このピーキングファクターの図って同じ。
0:13:04	のでいいんです。同じものを使ってることいいんですかね。
0:13:09	金融シモジョウですはい。同じものです。なるほどですねわかりました。あと、
0:13:15	ちょっと微妙なところなんですけどさっき、別紙 1-6 の、
0:13:22	注 5 のこのマスクングしてあるんですけど、
0:13:27	どう、
0:13:28	一応この数字とその後ろのをもう一緒にマスクングしといてもらっていいですか。
0:13:36	軸方向に何とかしたものであるとなるような形で、
0:13:46	内容じゃないですけど、秋吉部長。
0:13:49	CNOシモジョウです今、1-6 ですかね。
0:13:55	ページ 1-6。
0:14:03	今数値だけ、あれ、マスクングされてるんで、その
0:14:08	どういうふうな作業というか動作し、してるかっていう部分を隠しておいてください。
0:14:16	医師。
0:14:18	昨日 6、
0:14:21	すいませんちょっとお待ちください。確認させてください。
0:14:27	補足説明資料の、別紙 1 の 6 ページですね。はい。
0:14:36	トランスニュークリアを隠してないんですけどね他の事業者隠してるんですよね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:46	ええ。
0:14:48	数字の後の漢字二つあるじゃないですか。あれも隠しておいてくださいってだけなんで。
0:15:01	今映している表の中 5 の農道燃料有効棒軸方向に、
0:15:10	後の数値隠してまじるじゃないですかそのあとの文言を、とに文字化、マスキングかかって、
0:15:19	はい。公開資料にしといてください。
0:15:21	とりあえず以上です。
0:15:25	承知しました。
0:15:40	ありがとうございます。
0:15:49	規制庁の松野です。
0:15:51	遮へいについてのこちらからの質問は以上となります。
0:15:58	本日のヒアリングは一応 16 時半までですので、
0:16:04	残り遮へい以外で、
0:16:07	少しポイントのみで、ちょっとコメント回答の説明を、大体 10 分、
0:16:15	15 分程度で、ちょっと説明をお願いできますか。
0:16:22	最近日も上手す。
0:16:26	そうしましたらコメント管理表の方に戻りまして、
0:16:52	ブー
0:16:54	途中、P5 ページ。
0:16:59	ですね。
0:17:06	ちょっとください。
0:17:20	えっとPの 5 ページで、
0:17:26	相馬桜菜説明をする箇所といたしましては、
0:17:36	ドキュメント管理表の
0:17:41	じゅ 14 の、
0:17:47	14-3 のところからいきたいと思います。
0:17:54	今回は
0:17:57	コメント管理表の 14-3 では、前回いただいたコメン等はちょっと除熱のところですね、温度測定ができる設計になっているかどうかと。
0:18:08	というような趣旨のコメントをいただきました。
0:18:14	ちょっとここからいきなり、
0:18:18	その前のページですね、5 ページのところ、14 の、
0:18:24	日中 4-2 というふうに通等が続いておまして、もともとですね 14 の一井のコメントを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:34	除熱機能の設置許可基準規則の要求事項のところ、外表面の温度測定ができる設計、
0:18:45	となっているということについてですね、等というふうにパッカーと、その設置許可基準規則への適合性というところで、どういうふうにかと。
0:18:56	いうコメントをいただいております。
0:19:00	14-2。
0:19:02	前回コメントいただいた案に加えて 14-2 で、
0:19:10	測定温度測定についてですね
0:19:16	申請書の方では具体的に明記しておりませんでしたので、それを注記で、
0:19:32	概要のパワーポイントの 19 ページになります。
0:19:40	収納 4 っていうのを付けておまして、
0:19:44	現状の申請書では、必ずしも明記されていない、書いていなかったのが今後補足申請の際に、追記することにしたというふうにコメントを。
0:19:58	ここの中の 4 のコメント、修正をさせていただき、
0:20:03	明日で、コメントの管理表のに戻りまして 14-3 ですね、そのときに、それに関連したコメントで、14-3 番で、
0:20:16	アノ. 5 ですね、サイト外貯蔵の型式証明の申請書に記載されているかどうかというようなことを関連コメントとしていただきました。
0:20:29	それ回答がこの方に書いてあります。5 ページ。
0:20:35	弊社の 6 ページです。
0:20:38	の回答になります。
0:20:40	まず表面温度を測定する、設計についての直接的な記載というのは、先行の形書面時の申請書での記載はありませんでした。
0:20:51	ただ表面が凹凸のない
0:20:55	大きな円筒形状ですので、ネツエンツイ等の接触式のスポット測定装置を設置できると、そういうような設計対応ができるというのは自明だというふうに考えております。
0:21:05	先行の型式証明の申請書の中では、その括弧書きで書いておりますけれども、ちょうど建てやあは、
0:21:17	金属キャスクを貯蔵する貯蔵区域、金属キャスクの搬入及び検査を行う経理区域及び、金属キャスクの蓋間圧力、
0:21:27	能監視装置及び表面温度監視装置等の検出器からの信号を表示、記録する装置等が収納される付帯区域から構成されると。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:39	そういう直接的な記載はないですけども、そういう建屋の施設の方の記載で、表面温度からの検出器の信号を記録或いは表示すると。
0:21:50	というような記載がありますのでその表面温度測定をすることを前提というような記載がありましたというご回答でございます。
0:22:08	引き続きまして、コメント管理表。
0:22:13	主なところで申しますと、
0:22:21	これはもうご報告だけですねコメント番号の 17-2 番ですね、前回広告だけですね、パワーポイントの方で、画面形状、
0:22:33	除熱解析の解析モデル等、実形状を比較した図を、パワーポイントの方の資料に載せておりました。
0:22:43	それは米津解析の補足説明資料の方にも乗せてくださいということでしたので概要パワポの資料に加えて、
0:22:56	米津金郷の補足説明資料の方にも、追記をさせていただいております。
0:23:05	補足説明資料の
0:23:08	除熱解析の除熱機能に関する補足説明資料の、別紙 1 の 20、
0:23:17	ページになります。
0:23:24	1-20 ページと 1-21 ページ。
0:23:28	ここで添付 1 の別紙、全部、資料の中ではこの資料の中の、別紙 1 の添付 3 と、
0:23:40	いう資料を新たに追加をしております、ここに概要パワーポイントの資料で載せておりました。
0:23:50	全体モデルの解析モデルと実断面モデル、字断面形状との比較。
0:23:57	投票と、その次のページに、輪切りモデルの解析モデルと、その実断面形状の図を追加で掲載をしております。
0:24:12	これがコメント回答の先ほどの 17 の
0:24:19	2-5 コメントの対応になります。
0:24:27	ちょっと補足説明資料に除熱解析の補足説明資料で、これらのこの別紙の別途、
0:24:39	別添 3 をですね、本文の中で、参照している箇所がちょっとアノ道抜けておりますので、次回の説明の中では、
0:24:49	もう一度
0:24:53	内容的には変わらないんですけどもこの別添 3 を呼び込むところのですね、資料の記載を一部、追記をさせていただきます。
0:25:05	申し訳ありません。ご了承ください。衛藤です。コメント管理表に戻りまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:13	あと 18 番の臨界解析の感度解析キーについてです。
0:25:22	臨界解析で感度解析キーをしているんですけどもその内容がわかりにくいというふうにコメントいただきましてまた
0:25:33	1077 燃料の感度解析は実施しているんだけど 1055 燃料については、必要なかどうなのかということも含めて検討するようにと。
0:25:46	ということでコメントをいただいております。
0:25:50	これに関しましては、臨界解析の補足説明資料の、
0:25:59	別紙の 1-1 から 1 の、
0:26:03	5 ページですね。
0:26:14	ここを今映しておりますけれども、
0:26:18	臨界解析資料の別紙 1 の
0:26:24	条件設定の根拠についてということですね、
0:26:31	説明をもう少し補足追記する形で修正をさせていただいております。
0:26:41	内容的にはまず 1077 燃料を収納した時の冠水状態、(1)冠水状態でどういうふうに考えたか、(2)番で乾燥状態でどういうふうに考えたかというのを書いております。
0:26:56	その結果を表の 1-1 の括弧Aに示すということでまずは 1077 燃料について検討しましたということです。ここに文章は少し追加をしておりますけれども、
0:27:10	表の中身をですね、前回ご説明した中身と全く同じ内容でございます。
0:27:18	その次に、1055 燃料の装荷した時の考え方を、ここは追記をいたしました。1077 燃料の感度解析の結果を踏まえて、
0:27:30	必要と思われるところを追加をしたと、いうふうに書いております。
0:27:40	その 1077 年上でやった内容をすべて同じようにやっているわけではなくて、一部 1077 燃料の結果を受けて、
0:27:50	それにプラス必要だと思ふところを考えたところを、1055 年以上についても感度解析を行ったと。
0:27:59	ということでございますその結果を別紙 1-1 の括弧B表に追加をしているということでございます。
0:28:08	次に、キャスクのTK26 型のキャスクの内部と外部の雰囲気について、まず水の有無ですね、とか薄井の方、
0:28:19	水の円筒とかですねその辺りの解析をせず、ご説明を 3 ポツ参考で説明をさせていただきました。
0:28:33	このですね表を、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:36	をまとめた表は別紙1の医師の括弧C表の方に載せたり、図の別紙1-2、図の別紙別紙の1-2図、
0:28:47	別紙1-3図、別紙1-4図と、また別紙1-5図という形で図を参照しておりますけれども、その図の内容はですね、前回の資料までで、お出ししている資料を、
0:29:04	そのまま同じ内容のことでございます。説明の順序をですね、すぐに、ちょっと構成を見直して、書き、文書を説明する文章も不足して、構成を見直したと。
0:29:20	ということでございます。
0:29:24	今別紙表、別紙1-1括弧表を載せておりますけれども、赤で書いているところが今回追加したところになります。
0:29:36	バスケットの格子幅の
0:29:39	はこれ感度解析をしているわけではないんですけれどもこれ定性的な傾向から、バスケットの格子幅がミニマムの場合が
0:29:53	経営企画課の人口増倍率が一番最大になるという条件。
0:29:59	ですので、この幅を小さい条件を前提として、その他の堆積感度解析を行ったと。
0:30:09	ということでございます。
0:30:14	次の1-別紙1-1のB表ですけどもこれ1055燃料収納時の経過を載せたものでございます。
0:30:24	こちらの方は、冠水維持の条件だけを載せてございます。
0:30:31	乾燥地の方はですね、1077燃料の方の感度解析の結果から、
0:30:41	同じ傾向だということが
0:30:45	わかりますのでそこでは15年度については冠水状態の感度解析の結果をだけを追加をしております。
0:30:59	最後に別紙1-1のC表ですけどもこれここに書いてある内容は前回までの説明資料で書いてる内容をちょっと構成見直したので、表を別の表にして括弧CEOにしたと。
0:31:14	ということでございます。内容は同じ内容を載せてございます。
0:31:19	こちらの内外雰囲気感度解析につきましては、1077燃料で代表して、1055燃料では、
0:31:30	同じ傾向だというふうに考えて等を実施しておりません。1717年度で対応して実施したと、ということでございます。
0:31:39	はい。感度解析については以上のような説明を追加をさせていただきました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:49	えっとコメント管理表の方に戻りまして、番号、コメント間番号で言いますと 19-2 番になります。
0:31:59	これは除熱解析の方でちょっといただいてたコメントを回答になります。底部中性遮へい材の温度が一番高くなっているんですけどもそれは、
0:32:13	基準値に対して、ちょっと裕度が少ないということに対しまして、
0:32:21	底部方は、境界条件を断熱にしていると、というような説明を前回させていただきました。それに対して定量的な評価はできませんかというような追加の質問をいただいております。
0:32:38	今回ですねちょっと底部方向の断熱にしたことによる定量的な評価っていうのは、ちょっとそこは検討をしておりますけれども、
0:32:51	別納アプローチですね、先ほど遮へいのところで説明いたしましたけれども、燃焼度分布の保守性というのを、を考慮をした。
0:33:01	形状評価というのを、を追加をさせていただいてございます。
0:33:08	まず中性遮へい材の寿熱分析の結果から基準値の妥当性、
0:33:14	というようなある基準値で妥当であるということを説明をしております。
0:33:18	その回答が、コメント回答資料の
0:33:24	14 ページになります。
0:33:30	回答ですけども
0:33:34	提携 26 月の修正者以外の解析の結果ですね、表の 19 の議事に示します通り、定義で、最高になっていますと。
0:33:45	ここのですねその分ぐらいの
0:33:50	方を、フォンどうがああいうのがあるかというのを、ピーキングファクターの設定。
0:33:58	の、粒度を、を用いて、定量評価をしております。
0:34:07	OPファクターで、ここに書いてあります通り、
0:34:13	融度実際のグループに対して、いうかございますので、それを発熱量に換算いたしまして、その設計発熱量の設定の誘導っていうのを、
0:34:28	評価をいたしました。
0:34:31	ここに書いてある、再掲でもここの枠組みしてある赤井飯野を誘導を持っていると。
0:34:39	ということですので、その結果からですね、
0:34:43	温度差、発熱量が外気の基準を度を 50 度が 1 の基準温度として、発熱量等をポンと、
0:34:54	ハタが比例関係にあるという関係を用いて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:01	評価温度の推移と、
0:35:06	概算いたしますと、ここに書いてある温度になりまして、実際よりも低い温度になると、いうことでございます。
0:35:16	それに加えてですね、前回ご説明した通り、町道外に置いてある底部方向を断熱にしておりますので、実際にはそれよりもちょっと、もっと温度が低くなる。
0:35:30	そういう保守性を持っているということでございます。
0:35:35	それに加えて、この
0:35:39	メインファクター図は先ほど遮へいをお示した図と全く同じでございます。全体のというのをを用いてそれを発電するというふうに変換して、右、3分の1ページの方でご説明した通りでございます。
0:35:54	三分、No3 ページ、3-3 ですけどもページで 16 ページになります。
0:36:00	これも中性遮へい材のおしさ熱分析の結果先ほど遮へいの重量現存の説明のところ、ウダした
0:36:10	ずっと全く同じものを再建してございます。
0:36:16	前回ですね、中性遮へい材耐熱アノ基準運動を 150 度を用いて言いますと、これは文献から設定したものです。
0:36:27	こういうご説明をいたしました。今回の試算熱分析の結果もあわせをしておりますと、それによると、もっとアノ行まで、顕著な何か定期的なカーブ変化が起こらないと。
0:36:40	いうことを確認しておりますので、この 150 度をという、基準値の音というのは、設定は妥当なせてやるということをご説明を追加をいたしました。
0:36:59	コメント管理表にもどう言います。
0:37:06	えーっと、
0:37:13	今ここでご説明した内容、あと、一通り説明させていただいてよろしいでしょうか。一つずつ切った方がよろしいでしょうか。
0:37:24	規制庁松野です。
0:37:26	今もうコメント管理表で言うと、
0:37:31	残りはあれですか。
0:37:33	ところ、はい。あと残りコメント管理表でいきますと 8 ページですね 22 番、
0:37:40	コメント番号の 22 番以降になります。
0:37:45	こちらも基本は補足説明資料に適宜反映していただいたってことではい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:53	よろしいですね。そうですね。あとこの今映しておりますけれどもコメント管理表の 8 ページの中で言いますと、20、
0:38:04	3 番ですね、コメント番号の 23 番で、
0:38:10	前回、閉じ込め機能の説明の中で、圧力監視、
0:38:18	している時にある、圧力まで下がった時にヘリウムを充填スルー可能性 がありますというご説明をいたしました。その後の説明がちょっとわかり にくいというご指摘をいただきまして、
0:38:33	その説明を
0:38:36	概要パワーポイントの資料の 31 ページの方に反映してございます。ち よっと今映しておりますけれども、ここに記載している内容は、とじ込み 機能の補足説明資料の方に、
0:38:51	記載している内容を概要、
0:38:57	1 ページ、パワーポイントの 1 名、1 ページにまとめて記載したものでご ざいますので、
0:39:06	これ確認して、踏んでいただいてですね何か
0:39:11	気になる点がございましたら、
0:39:13	ご質問、ご質問いただきたいと思います。補足説明資料でいきますと閉 じ込めの補足説明資料の別紙ようにですね、そこでここで書いてある内 容を、
0:39:24	ご説明をしてございます。
0:39:31	と、等は、
0:39:34	コメント管理表の 8 ページにありました後はですねちょっと若干誤字を 修正させていただいたこと、あと長期健全性の資料の中で、ラーソンミラ ーパラメーターの設定が 20 の場合と 14 の場合が下両方書いてあるん だけれども、
0:39:52	どちらの方が頭突きいきますか妥当なのかというご質問を
0:39:59	確認のコメントをいただいております、これにつきましては、概要バー ポイントの 35 ページの方で、この注記の 4 ですね、ここで、
0:40:14	結論から申し上げますと、定数Cが 20 の場合を正として、記載を見直し をさせていただいております。
0:40:24	はい。定数Cはですね、二重の場合はアルミの拒否回避とあと、ニッケ ル基合金へ構成されるこういうスプリングとかですね、その辺りの金属 ガスケットの材料を構成する材料全体を考慮したときの、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:43	掲載的な定数として、Cが 20 っていうのが、電中研さんの試験結果から設定されておりますので、こちらの方を正として、記載を見直しをさせていただきます。
0:40:59	ということでございます。
0:41:04	あともう費、
0:41:06	須賀阿藤長期健全性のコメントの看板の 27 番になりますけれども長期健全性のところで、中性子遮へい材の表カーのアノ線首脳が吸収線量のグレーになってるんですけどもそれについて、
0:41:22	補足を注記を加え、何かしらの補足説明を加えてくださいということでしたので、戸川様パワーポイントの 36 ページになりますけれども、
0:41:34	中性子遮へい材のところで中の 3 番ということで、中性子とガンマ線の両方を考慮した吸収線量で評価をしたと。
0:41:44	ここだけですね、単位が中性じゃなくて、グレーの単位に変わっておりますので、そこについて、注記を加えてございます。
0:41:56	はい。
0:41:59	はい。コメントの回答につきましては、以上になります。
0:42:05	はい。規制庁マツノれっす。
0:42:11	今日のヒアリングで二つのパワポ資料を用意していただいて、
0:42:16	次回の審査会合では、その資料 1-2 を、
0:42:22	用いて、
0:42:24	説明されるっていう理解でいいですか。
0:42:28	Nシモジョウですはい。はい。その通りでございます。はい。
0:42:35	こちらの概要パークの法整備としてご説明したいと思っております。
0:42:43	規制庁松田です。
0:42:46	で、
0:42:47	あれですよ今このパワポ資料 2 は、
0:42:51	3 ページ目を見ると、臨界遮へい除熱閉じ込め、長期健全性で赤囲いがしてありますけども、
0:43:00	確か長期健全性は多分、
0:43:03	ヒアリングで、
0:43:05	あるミイの部分がまだ説明されてないので、
0:43:09	アルミの話と、この長期健全性は多分セットで説明した方がいいかなと思いますので、
0:43:17	次回の審査会合ではこの臨界遮へい情熱閉じ込め、
0:43:22	の基準適合性についてちょっと説明を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:26	お願いしたいと思います。
0:43:29	出井委員の質問です承知しました。
0:43:33	実施、その中で資料 1-1 の、
0:43:37	2 ページ目にあるこれ会合でのコメント回答なんですけども、
0:43:43	これ次回、コメント回答できる内容としては、
0:43:48	No。
0:43:52	ナンバー1 とナンバー3。
0:43:55	この二つが該当できるという理解でよろしいですか。
0:44:01	えーとですね、まずナンバー3 ですね先ほど
0:44:07	説明した内容のNo.3 は説明いたします。そうですねナンバー1 につきましては、そうですね。
0:44:19	はい
0:44:21	藤。
0:44:23	はい。ちょっとここで回答、コメント回答を具体的に記載できておりませんけれども、このコメント管理表といいますかこの中では、
0:44:33	回答の概要を示してあと適宜補足説明資料を参照しながら、はい。
0:44:40	回答をしたいというふうに思います。はい。
0:44:44	ですので1 と3 番です。
0:44:48	規制庁松野です。わかりました。そこはちょっと次回の審査会合に向けてのロジは、この
0:44:55	ヒアリングが終わった後にちょっとお話したいと思います。
0:45:00	で、
0:45:01	資料 1-2 について、ざっとこう、
0:45:06	内容を確認した中でちょっと記載が、
0:45:11	幾つか確認したい点がありますので、
0:45:17	わかりましたじゃまずわしコメント回答についての、少し確認を、はい。
0:45:23	トガサキさんお願いします。
0:45:26	すいません先ほどのコメント回答で質問、ちょっと一つだけ。
0:45:31	したいと思います。
0:45:35	ですね、先ほど、
0:45:45	臨界の
0:45:47	感度解析の補足説明資料の、
0:45:52	別紙 1-3 の表の
0:45:56	バスケットの資材の幅っていうのが、
0:46:00	二つあるんですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:04	最初っていうふうに書いてありますけど左左が最小というふうに考えていいんですか。
0:46:10	ディー・エヌ・エーの下条ですこれはですね、バスケット格子材が2種類の対2種類あるんですね。それぞれそれぞれのあたりが両方とも最小になります。
0:46:23	両方とも最初なんですか。
0:46:27	はい。で、感度解析っていうのはだから、
0:46:30	その追加したって改善した分、ものっていうのは右の方なんですか。
0:46:40	PNC右の方と申します。粹その左の数字の右の数字がありますけど、
0:46:48	感度解析で追加したものっていうのは、
0:46:55	右の方なんですか。
0:46:59	いえ、あの程度シモジョウです右とか左ということではなくて、バスケット格子材の幅が、
0:47:09	幅の寸法がですね
0:47:12	2種類ございまして、
0:47:18	ちょっとねわからないのがその解析の結果っていうのがばーんってますよね。それで、
0:47:27	逆に、
0:47:30	1種類しかないところに、伸ばす血糖、資材の厚さ、
0:47:36	の交渉最大のところにこの解析結果のところがあるんですけど、その元のやつと、との差だと思うんですけど。
0:47:44	元の図と、今回のこの表ですね、の数字が、何が変わってるのかっていうのがちょっとわからないんで、
0:47:55	そこの説明がちょっと頭を
0:47:59	教えてもらいたいと思うんですけど。
0:48:02	特にバスケット工事の幅ってのは2種類あるので、元は何でやってて今回感度解析としてどれとどれをやったのかというのをちょっと教えてもらいたいんですけど。
0:48:13	その時に何で解析結果のところに、数字がバーになっているのがですね。
0:48:21	はい。ディー・エヌ・エーの下条です。まずですね
0:48:26	もうすでに、
0:48:29	ご理解されているのかもしれませんが、
0:48:40	まず、
0:48:45	臨界の資料ではないんですけどもバスケットの断面図が載っている図で今

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:53	画面の方に映しておりますけれども、
0:48:57	バスケット防止材の幅が、幅の広い今この図でいきますと、幅が加 縦の方向ですね、幅の広い部材と、
0:49:07	この両方にありますちよつと幅のちよつと狭い寸法の 2 種類の欄に、ちよ つとちよつとのバスケット格子材がございます。
0:49:20	それぞれ、それぞれ両方ともですね、再消費幅が一番狭い場合の方 が、厳しい条件になります。
0:49:32	それ、もう最初寸法といいますのがこの別紙 1-1 の括弧営業ですね 臨界の補足説明資料の
0:49:42	別紙 3-1 になりますけれども、ここに書いてある幅の狭い方のバスケ ットの一番ミニマム値と幅の広いタイプのバスケット格子材の幅野、近 江馬淵。
0:49:56	これも両方とも、最初にした場合の方が、
0:50:00	反応度が上がるということでございます。
0:50:04	それは中期の
0:50:13	3 番ですね幅が狭い方を、
0:50:20	乾燥状態には幅が狭いほうが反応度が燃料が近づく方向ですので、反 応度が上がるということと、注記の 4 の方では冠水状態ですけれども、
0:50:32	バスケットの資材の幅の中にある水ギャップと呼んでいる空間の部分で ですね、中性子の減速効果があつて、それで減速されることによって、
0:50:46	放送で吸収されるということに、熱中性子に減速されたこれで、ほう素 が吸収されますので、ここの幅が狭くなってこの水ギャップ、水のう想像 がですね、
0:51:01	小さくなる方が、反応度が上がると、ということですので、ここのバスケット の格子幅につきましては、2 種類あるねん。
0:51:12	越田幅野をタイプの両方とも、それぞれの両方とも最小値の幅で、解析 をしておりますそのときが一番濃度が上がる形 effective が大きくなる条 件になると。
0:51:27	ということでございます。その感度解析の結果が横ばいになっていると言 うのは、その条件を、その条件で計算した時の結果が今、
0:51:40	臨界能計算臨界防止の計算の中で、申請書の中に記載されている条 件になっているということですので、この値が%
0:51:52	ここでバーになっていると。
0:51:53	ということでございます。
0:51:55	院長説明は以上になりますということですけど。そうですねだから、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:01	感度解析してないんですねそこは。
0:52:03	PD申請書に記載されてる数字をそのまま追加して、感度解析してるところは、バスケットの格子材の厚さの交渉と最大って書いてあるところを、
0:52:16	申請書のアノ値と変えて解析してその結果が右に書いてある、マイナス側のずれがありますっていう。
0:52:28	そういう理解でよろしいんですか。
0:52:32	はい。Tnシモジョウその通りです。ここで書い感度解析という意味では、確かにバスケットの更新の幅の寸法については、ここもう定性的に狭い方が、
0:52:46	厳しい条件になるというふうに考えて感度解析はしておりません。この条件は、ミニマムの寸法の時が最大になるということでその臨界解析の条件としては、前提条件として設定した。
0:53:02	ということでございます。
0:53:03	はいわかりましたじゃちょっと、あとな赤の資材の幅の中に種類あるというのはどっかに、ちょっと
0:53:13	2種類あるっていうのがわかるような、ちょっと表現を入れてもらった方がいいと思うんですけど、いかがですか。
0:53:21	ディー・エヌ・エー下条です。
0:53:24	承知いたしました。
0:53:28	はい。私からは以上です。
0:53:41	すいません1点だけ確認なんですけど、臨界の13の1から3を今回は飛ばしたのってさっき、次回会合がどうたらこうたの時も言っていましたけど、まだそこまでちょっとになってないから、今、
0:53:56	13-3で、
0:53:58	次回コメント予定みたいな感じにしてるからってことですよ。でも一応臨界は臨界なんで、とりあえず説明には載せるよってことでいいですよ。
0:54:09	PNCの量ですはい今コメント管理表の江藤麻生それで13-1-43-3で、
0:54:20	今現状ですね1717年度と1055燃料能アノ値、臨界解析で反応度が同等なので混載しても同等であるという定性的な説明をしております。
0:54:34	そこをもうちょっと技術的な、もうちょっと詳細な説明できないかというコメントを前回いただいておりまして、そこについてはちょっと今現在検討中ですので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:47	詳細なあ回答は次回以降ということでございます。はい、わかりました。ありがとうございます。いえ。
0:55:05	規制庁マツノです。
0:55:07	では私の方から資料 1-2 についてちょっと幾つか確認したいんですけども、
0:55:15	まず、
0:55:21	23 ページ目。
0:55:24	除熱設計で、
0:55:27	以下の通り、保守的な条件をするというところの二つ目のレ点で配列ピッチを 3.5 メートルとする。
0:55:37	これ制約条件になるという理解でよろしいですか。
0:55:43	土岐シモジョウですはいこれがキャスク配列の制約条件になります。
0:55:49	幅が、配列ピッチが小さくなる方が、安管の
0:55:55	近く。
0:55:57	隣の客が近くにありますので条件として厳しくなりますので、はい。これが条件になって実際には 3.5 メートルのピッチ配列ピッチ以上に配慮するという条件になります。
0:56:10	その内容が 24 ページ目のところの設置変更許可申請において別途確認するよう形の中にはちょっと書かれてませんけども、
0:56:19	そこをちょっと明確に記載をお願いできますか。
0:56:30	わかり承知しました。
0:56:39	続いて、
0:56:40	30 ページ目なんですけども、この閉じ込め設計で、
0:56:46	右のグラフの金属アセットの設計漏えい率による蓋間圧力の揭示変化で、
0:56:56	これ、
0:56:57	上のグラフを見ると、破線は、周囲環境温度及び崩壊熱量を考慮した変動幅というのがあって、
0:57:07	貯蔵期間外、
0:57:10	下に書かれてあって、
0:57:17	0 のところを見ると、
0:57:19	変動幅が 0.239 と。
0:57:22	考慮しても 0.239 で、60 年後の
0:57:27	あと見ると、0.235 になっておりますけども、
0:57:33	この

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:36	0.04 っていう、その
0:57:39	差というのは、
0:57:43	これは、
0:57:45	どんなにこれ周囲環境とか、包括熱を考慮しても 60 年後には 0.235 の 0.04 しか下がらないっていう何かこれ。
0:57:54	具体的な評価結果ってこれ補足説明書に書かれてますでしょうか。
0:58:04	はい。
0:58:19	TNシモジョウです同じ。
0:58:22	図はですね補足説明資料の、
0:58:26	とじ込みの補足説明資料の別紙 4 の 3 ページ、2、
0:58:31	記載されております。
0:58:36	か。
0:58:43	と数字の細かい
0:58:49	説明の中、なんかこう文書の中で、スポコウノ数字について細かく説明はしておりませんけれども、
0:59:00	この次でいきますとですね、
0:59:04	実線が
0:59:07	注意環境が 25 度の場合、崩壊熱災害、破線が周囲環境が、温度が一番最大で 50 度の場合、
0:59:17	計測オーサーがなしあり、点線がですね一番採取周囲環境がマイナス 20 度で一番小さい場合で崩壊熱量なしで、
0:59:28	企業さんありというそういう条件で、三つの条件で
0:59:35	これは金属ガスケットの設計漏えい率、実力値ベースですね、60 年間の圧力変化を計算した場合に、
0:59:46	それぞれ、こういうような結果になると、いうことを図で説明したものです。同じ図はアトベ資料 5。
0:59:57	補足説明書の別紙 4-3 ページの方に載せております。
1:00:03	が、それ、答えになってますでしょうか。
1:00:09	いや、わかりました。
1:00:12	補足説明資料に同じ図が載ってることと一応計算した値であるっていうことですので、了解しました。
1:00:24	32 ページ目なんですけども、
1:00:27	ここで設置変更許可申請において別途確認する要件で、周囲温度がマイナス 20 度以上であることとあるんですけども、
1:00:36	これ条件としてはこれマイナス 20 度、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:40	最低温度、
1:00:42	以外にも最高温度は、
1:00:45	ここに書かない理由というのは何かあるのでしょうか。
1:00:51	土岐上野氏、北条です。
1:00:56	閉じ込めせ、
1:00:57	の計算条件としましては
1:01:01	旧4度が低い時が一番厳しい条件になりますので、その閉じ込め設計から要求される条件、
1:01:12	周囲条件としましてはマイナス20度、
1:01:16	ということで書いておりますただ、
1:01:20	上限の上の細胞の云々っていうのはもちろん50度をというのは申請書にも明記しておりますので、条件としましては、マイナス20度周囲温度としてはマイナス20度からあと50度の間ということには変わりございません。
1:01:50	あくまでも、閉じ込めの設計上っていうことで、マイナス20度、
1:01:56	を書きました。
1:02:09	マイナス20度とか要は12分タカギが最も圧力が下がっても、正圧担保できますよというところで、これ以上下がると、ここで言ってる説明がちょっとどうかなっちゃう話で、
1:02:23	そのあとの、先回の多数矢田さんじゃっちゃう話んところでもマウス20度っていうのがあるんで、
1:02:30	あそこのいじり分タカノことを考えたら、マイナス20度っていうのが一つの利息になると思い、ということですよ。で、
1:02:39	50度っていうのは逆に言う中が負圧っていうときに、当然、50度ベースでナカが例えば初期初期圧で
1:02:50	何ぼ、0.08MPaだろうから、低くなったらその分要は負圧のレベル高く、負圧のレベルっていうか、そういう下がってくるんで、
1:03:01	負圧っていう観点からいくと、高いほうが、キャビティの中はね、高いということなんで、書くんだったら、両方要るんじゃないかなと思います。以上です。
1:03:14	PNC模様です。
1:03:15	はい承知いたしました。両方。
1:03:19	両方書くのが正しいと思いますんで。
1:03:22	追加いたします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:37	私前回でー5、20 とかなんで書いてんですかって聞いたら解析条件で使うんですって言われてうんまあいいかなと思ったんですけど、変な話、条件とか範囲、範囲及び条件のところ、申請書には、
1:03:53	記載してるからそもそも
1:03:57	臨界とか遮へいとかいろんなところで使ってんじゃないのかなと思うんですけど。
1:04:01	ほ他は、他の解析値のときは、別に引き継ぎ条件みたいなので書いてないんですけど、
1:04:08	うん。
1:04:10	うんうん。
1:04:17	ああいうこれがもとで、
1:04:29	書くんだったら、もはや全部の機能で書いたほうがいいけどでもそれだったら範囲及び条件ってもう書いてるから、私は要らないんじゃないかなって思うんですけどね。
1:04:40	そこは、トランスニュークリアの何か考えがあるんですかね。
1:04:47	そっか、申請書に書いてあるのか今、
1:04:51	書いてない。
1:04:53	申請書に引き継ぎ条件で書けますよね多分。
1:04:58	はい。
1:05:00	1、
1:05:02	もうそこら辺を、
1:05:07	すいませんその下もホデですけど修復性の考慮って、よく聞く言葉なんですけど、具体的に、要は、
1:05:17	トランスニュークリアとしては、電気用は事業者に
1:05:24	何を書かせたいと考えておられるんでしょうか。
1:05:31	少々お待ちください。
1:05:57	私は木野下条です。ちょっとここではですね
1:06:03	この輸送貯蔵兼用キャスクっていうのが前提になってますので、参事部だが、取り付けられるっていうのが前提条件になっています国内の中間貯蔵キャスクですので、
1:06:15	ですので何かしら以上が、閉じ込め機能の異常が見つかった場合には、参事豚をつけて、
1:06:26	原子炉建屋の何かしらの対応ができるところに移動させて、そこで必要な処置を行うということだと、すいませんホデですけども。
1:06:39	今のは、むつの話じゃないと違ったら、あそこはホットセルがないから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:45	要はつけて、とにかく密封境界を作って、外に出せるっていう説明をしたと思う。
1:06:55	けども、
1:06:56	こちらもどうアノようわあ、
1:07:00	敷地内貯蔵施設から多分プールに戻してって話なんだろうけども、今の話も当然あるんでしょうけども、そこをどういうふうに、
1:07:11	その事業者が言うかっていうところはあると思うんですけども、
1:07:16	必ずしも 30%、30 分だということなのか、要は戻せるとか何とかっていうことではないかなという気がするんですが、その辺は
1:07:25	今後どういうことを書かせたいということをよく考えておいていただき、いただいて、おい、いただいた方がいいと思います。これだけで具体的な入戸こう聞かれた時に何がし、こういうふうに考えてますっていうことは答えられるようにしておいていただければと思います。
1:07:49	すいませんもう 1 点、もう 1 点、ついでついで先ほどのね、除熱で、
1:07:54	ピッチ、
1:07:55	3.5 メートルっていうのはあったんだけども、3.5 メートルっていうのは、
1:08:00	除熱解析で何か、どういう使われ方されているのかちょっと教えてくれ、もらえますか。
1:08:06	ちょっと気になってたんですけど。
1:08:10	ディー・エヌ・エーの下条です。
1:08:12	Bちいでですね放射のときに、隣に
1:08:20	周囲にどれだけ放射熱が逃げるかっていうのをを計算するとき、形態係数っていうのを設定します。
1:08:32	その形態係数を設定するとき、キャスク間の距離、あと 3、3.5 メートルのピッチで配列しているという条件で、その形態係数を評価をして、除熱解析の方に
1:08:44	反映して、条件として入れてます。
1:08:47	以上です。はい。ありがとうございます。今のこと書かれています。どっかに。
1:08:52	要は補足説明資料なり何なり、
1:08:57	少々お待ちください。
1:09:26	えっとPMの仕事ですすいませんちょっとすぐにですねどこかにその形態係数を考慮してというようなことが書いてあったかどうかちょっと、
1:09:37	すぐにわかりませんので、除熱の補足説明資料の中身もう一度確認して、もし、書いていなければですね

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:47	どこか適切な箇所にケータイ件数を公表をするという趣旨の記載を追記するようにいたします。
1:09:57	以上です。わかりました。
1:10:02	お願いいたします。
1:10:05	ごめんなさい。Tnシモジョウです。今ちょっと補足説明資料のページをめくってて、書いてる場所を見つけましたので、今この場でご説明いたします。
1:10:15	補足説明資料の別紙の1-7ページ。
1:10:20	いいです。
1:10:28	今画面に映しますここですね別紙。
1:10:31	1-4表です。
1:10:37	ここで中、
1:10:39	形態係数が書いてあって、注記1で3.5メートルから算出される値ということで、書いてございます。ここになります。
1:11:13	すいません。
1:11:17	周りのキャスクがあるというのは、これで理解しましたけども、
1:11:23	閉で、結局、
1:11:26	周りにキャスクがあるっていうことは周りに発熱体があるということで、そこからの、
1:11:32	入熱したらおかしいですけどね。その辺は何か考えられてるんですか。単に要は周りそういうボコッと、キャスクらしい円柱がいっぱいあるような状態で評価されたと。
1:11:45	で環境は50度で、50度でただし、当然放熱の場合は、自然対流と、
1:11:56	副シャー、
1:11:59	放射による除熱がされるわけだけども、そこで側面の形態係数というものを、
1:12:08	どこの値にして評価されてると。
1:12:13	だから、スタンドアロンではなくて、周りに、要は林立しててそれを、そいつは手伝いとか何とかっていうのは関係なくて、評価されてるといふふうに理解してよろしいですか。
1:12:31	ちょっとお待ちください。
1:12:50	トランスニュークリアシモジョウです。
1:12:54	まずですね形態係数の考慮というのは周囲2、3.5メートルのピッチで、同じキャスクが同じ表面温度の同じキャスクが発熱体のキャスクが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:06	3.5 メーター並んでいるというのを前提にして求めた値が 0.214 ということになります。ですので、トレー同じ温度感ですと、放射線熱は逃げませんので、
1:13:21	隣に同じ温度のキャスクがいる分についてはその、何て言うかね、あと、
1:13:27	見える角度といいますかあるキャスクを基準にして、その周囲を見渡したときに、同じ温度の表面に当たるところには、放射では熱が逃げないと。
1:13:39	というような条件設定をしているんですけどもそれが 214 という形態係数になるということでございます。
1:13:51	要は放射についてはあれですよ。鏡があると思っていいんですね。結局そこでの形態係数っていうのをこれ使いましたっていうことを考えたらいいかな。
1:14:03	あとキシモトそうですねはい。放射ではいそういうことでいいと思います。
1:14:30	規制庁松森です。
1:14:33	以上でこちらからの質問は、
1:14:36	これで以上となります。
1:14:39	何か全体を通じて、
1:14:42	確認したい点がありましたら、をお願いします。
1:14:49	Tnシモジョウです特にございません。
1:14:53	はい、ではこれでヒアリング終了します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。